

第5章 共通質問等の年代別結果

1 家庭や家族のこと、親子のふれあい

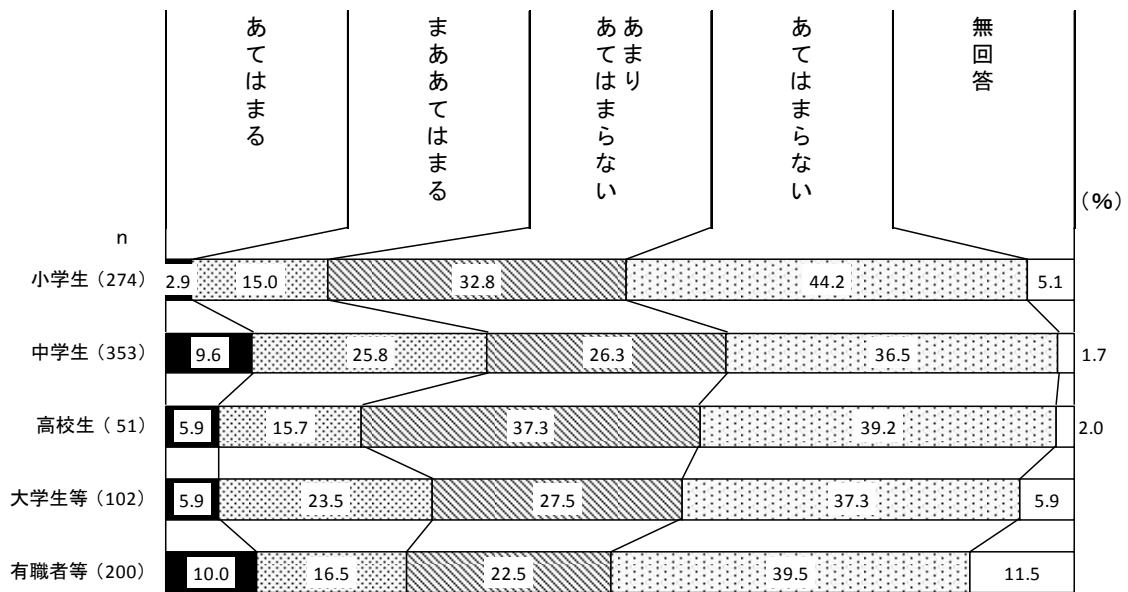
(1) 青少年が親に抱いている感情

11ページ問5、6 7ページ問7

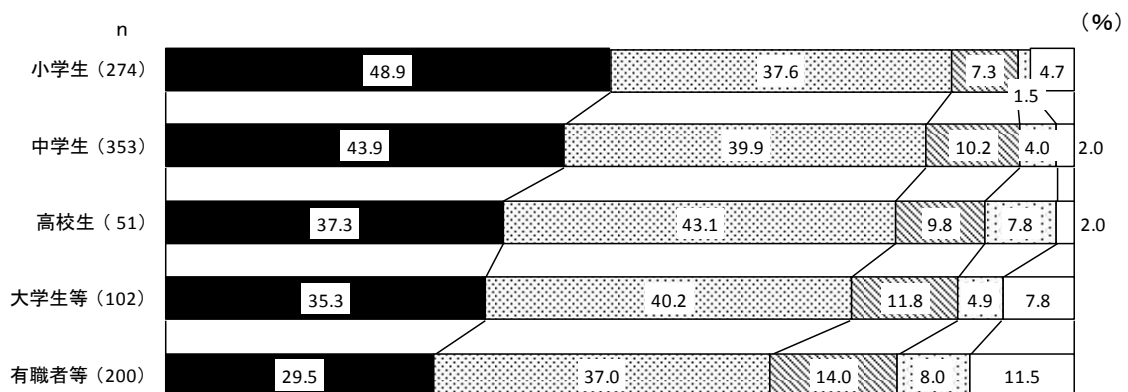
青少年に親に抱いている感情について聞いたところ、「あてはまる」と答えた割合が最も高い項目は、どの年代においても『頼りになる』となっている。(図表1(1)1、図表1(1)2)

図表1(1)1 父親に抱いている感情(年代別)

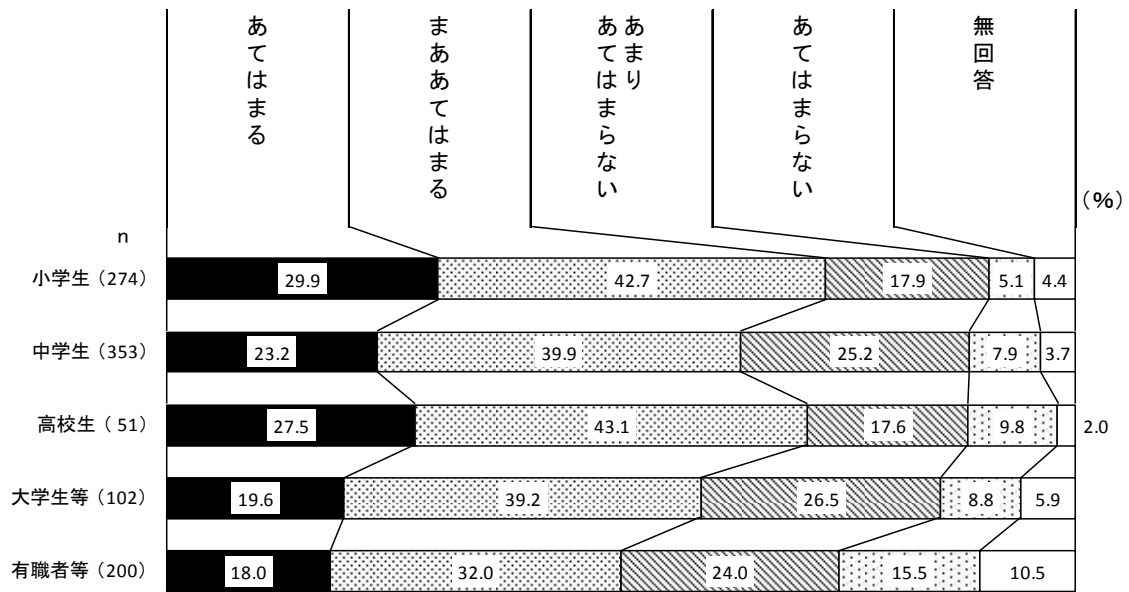
【反発を感じる】



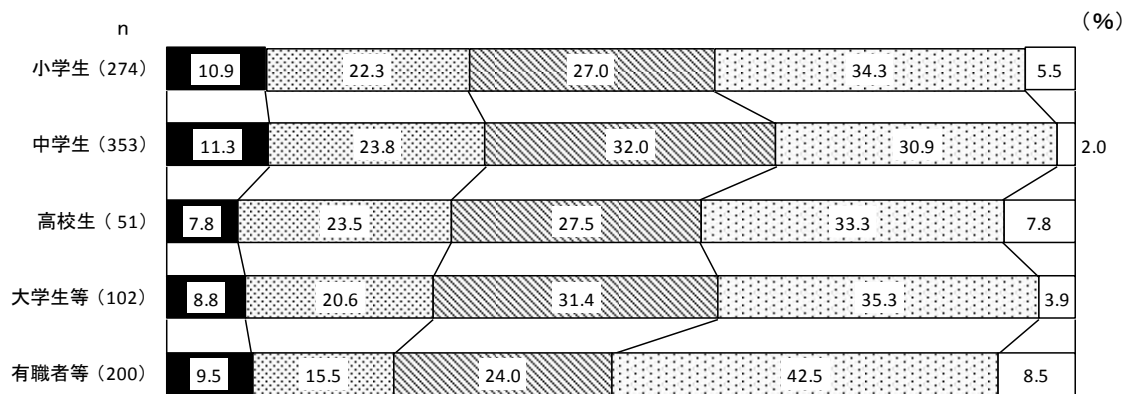
【頼りになる】



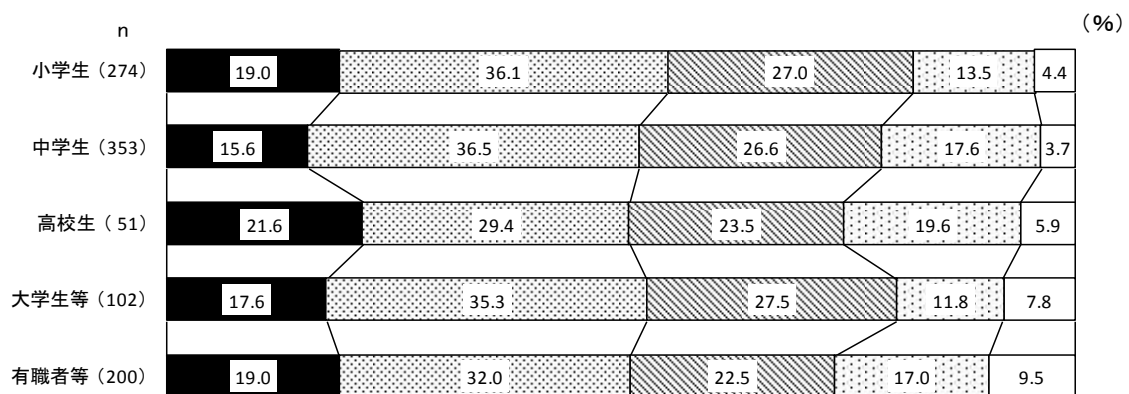
【気持ちをわかってくれる】



【口うるさい】

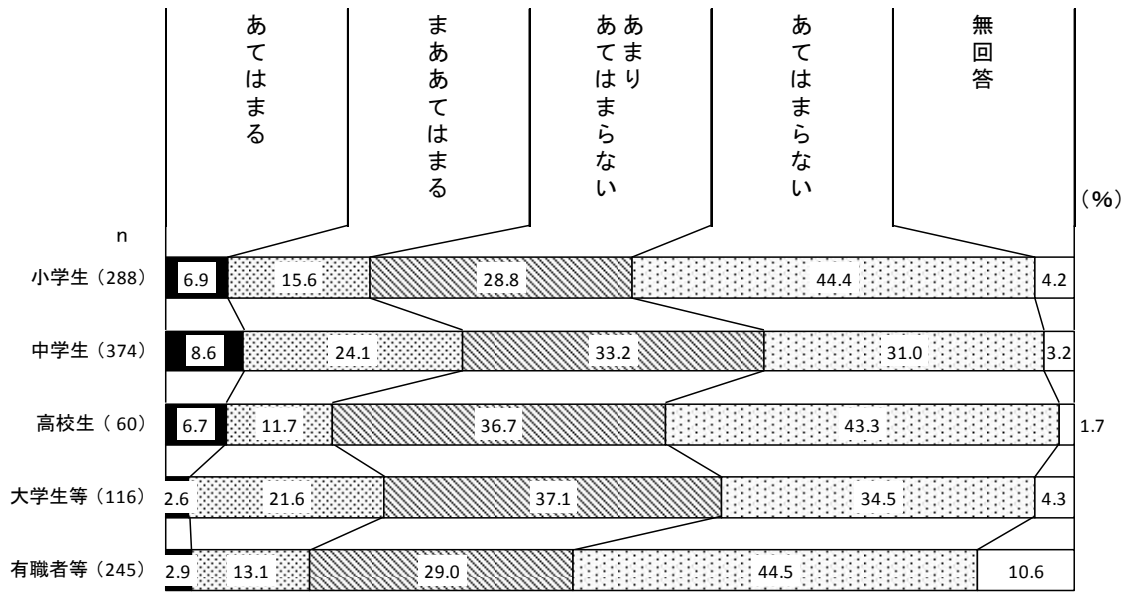


【将来父のようになりたい】

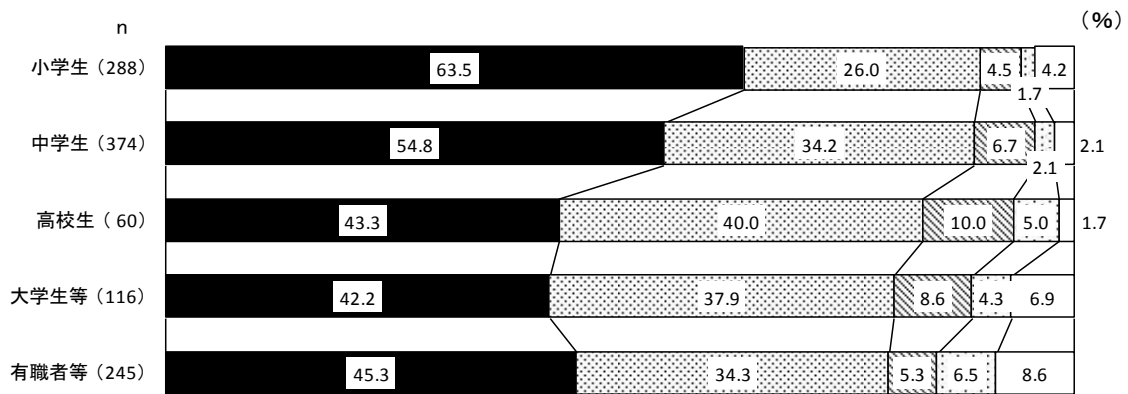


図表 1 (1) 2 母親に抱いている感情 (年代別)

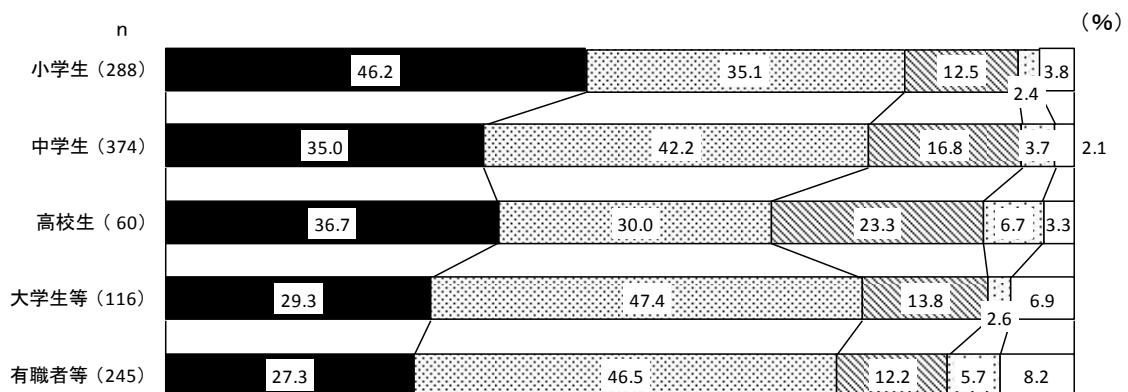
【反発を感じる】



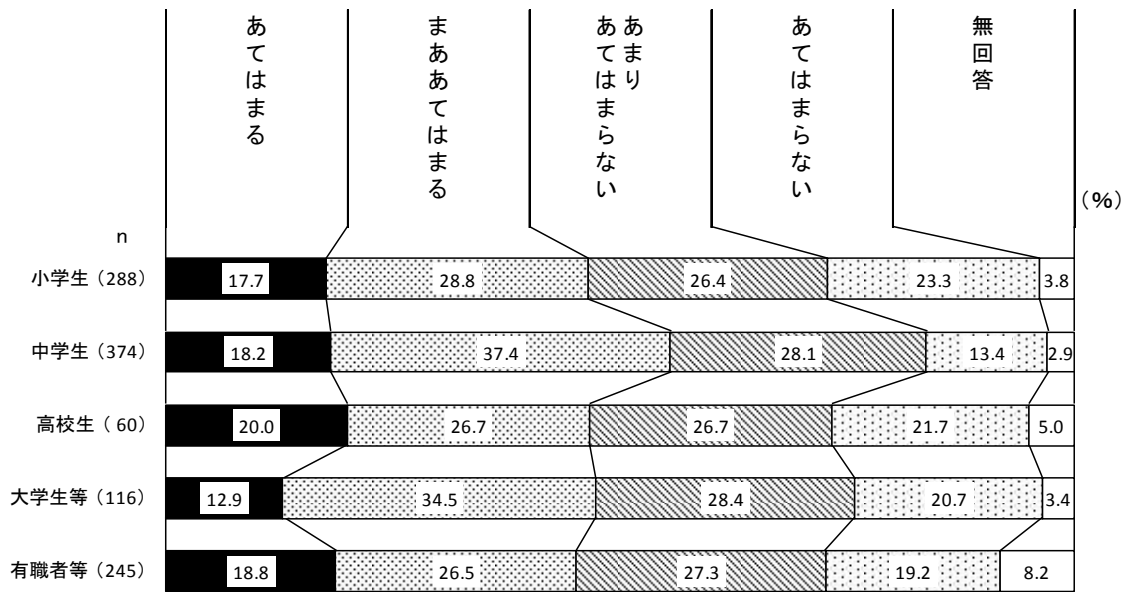
【頼りになる】



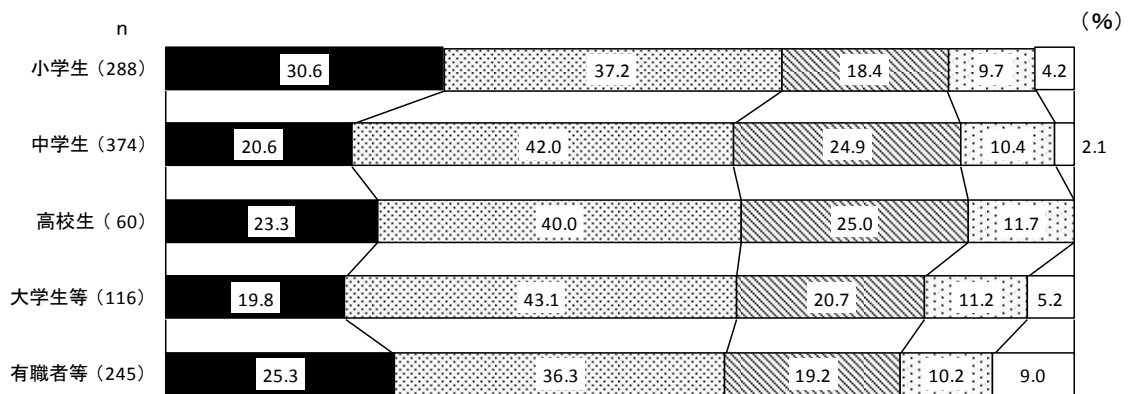
【気持ちをわかってくれる】



【口うるさい】

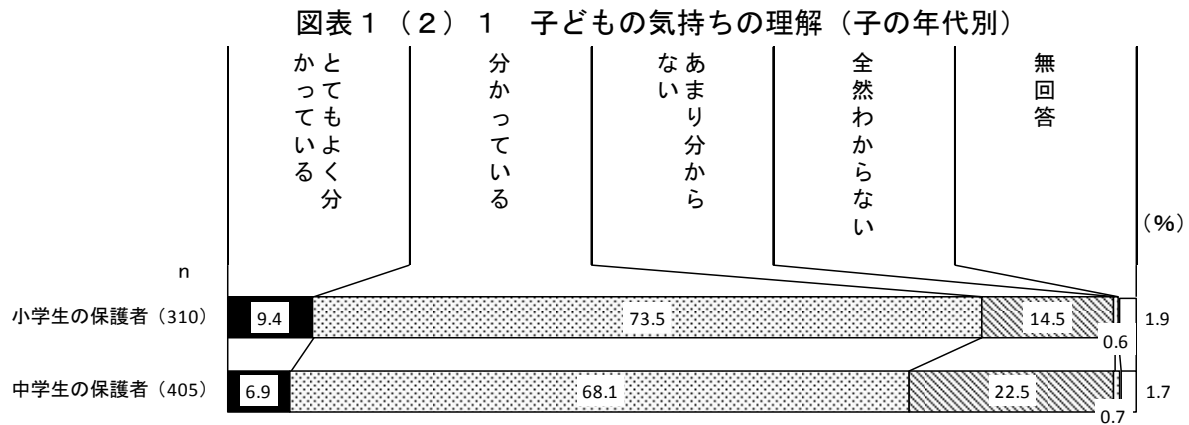


【将来母のようになりたい】



(2) 保護者は子どもの気持ちを理解しているか 133 ページ問 11

保護者に子どもの気持ちを理解しているかについて聞いたところ、「とてもよく分かっている」と「分かっている」を合わせた割合は、小学生の保護者では 82.9%、中学生の保護者では 75.0%となっている。(図表 1 (2) 1)



【小・中学生の結果との比較】

保護者の調査の回答者は 94.7%が母親であることから、小・中学生に母親は気持ちを分かってくれるか聞いた結果 (第 5 章 1 (1) 青少年が親に抱いている感情『気持ちを分かってくれる』(図表 1 (1) 2 前掲)) と比較すると次のとおり。

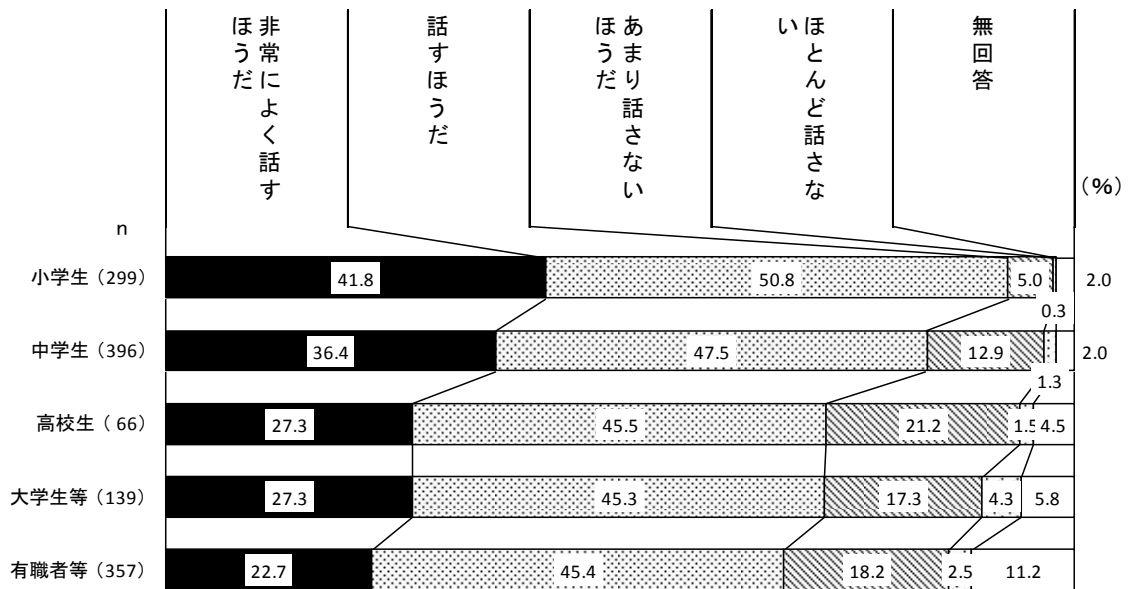
母親は気持ちを分かってくれると答えた小学生 (「あてはまる」と「まああてはまる」を合わせた割合) は 81.3%で子の気持ちを分かっていると答えた保護者の 82.9%をやや下回っている。

また、母親は気持ちを分かってくれると答えた中学生は 77.2%で、子の気持ちを分かっていると答えた保護者の 75.0%をやや上回っている。

(3) 青少年の家庭での会話の頻度 14ページ問6、70ページ問8

青少年に家庭での会話の頻度について聞いたところ、年代が上がるにつれて会話の頻度は減少する傾向にある。「非常によく話すほうだ」は小学生が最も多く、「あまり話さないほうだ」は高校生で最も多くなっている。(図表1(3)1)

図表1(3)1 青少年の家庭での会話の頻度(年代別)

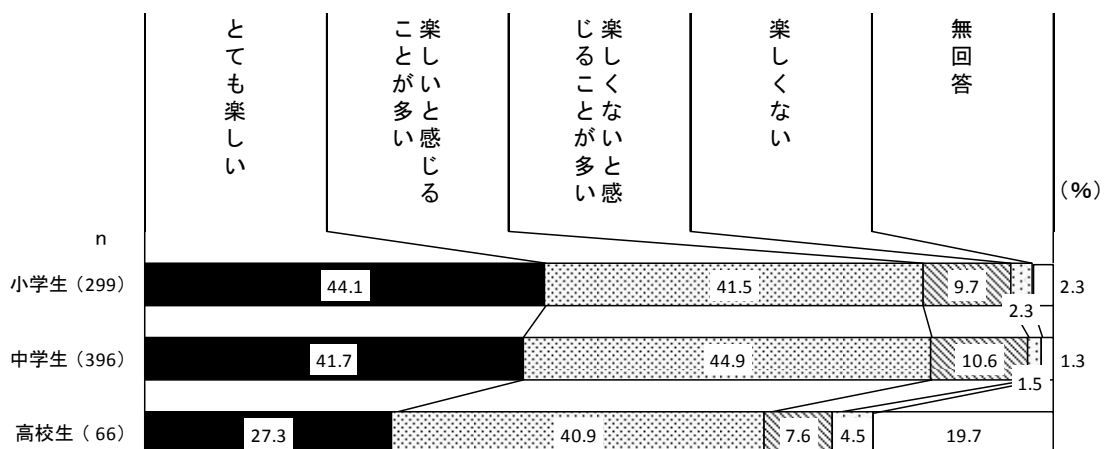


2 学校生活、学習時間

(1) 小・中・高校生活の楽しさ 20ページ問10、76ページ問12

小学生から高校生までの青少年に学校が楽しいか聞いたところ、「楽しい」と答える割合は年代が上がるにつれて減少する傾向にある。(図表2(1)1)

図表2(1)1 小・中・高校生活の楽しさ(年代別)



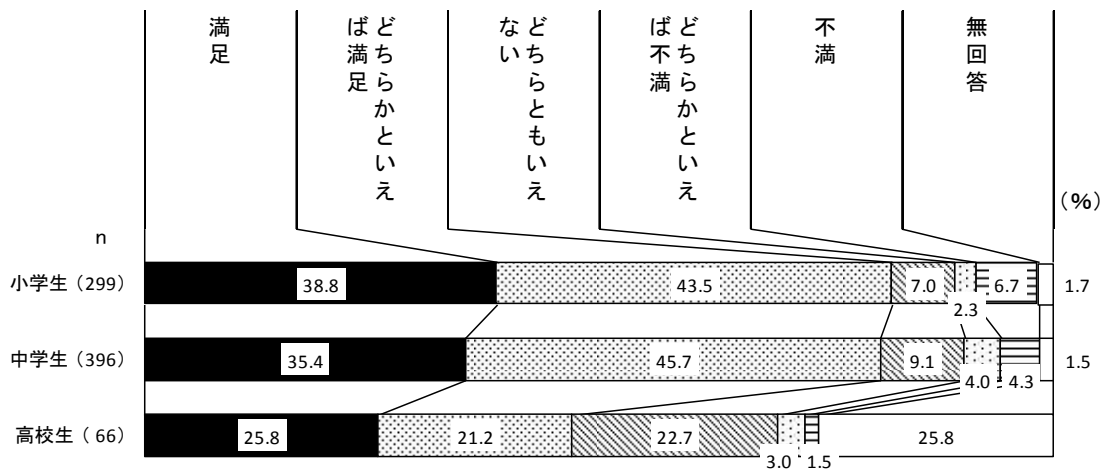
(2) 小・中・高校生活の満足度 20ページ問11、77ページ問13

小学生から高校生までの青少年に学校生活の満足度について聞いたところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が最も高い項目は、小学生では『クラスメイトのこと』及び『部（クラブ）活動のこと』、中学生・高校生では『クラスメイトのこと』となっている。

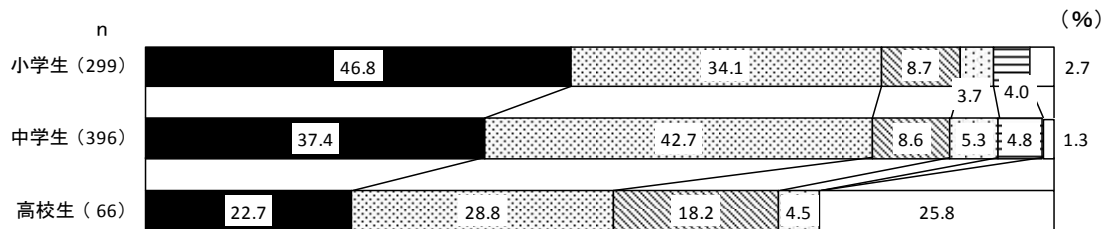
また、高校生では小学生・中学生に比べて、「どちらともいえない」の割合が高い傾向にある。(図表2(2)1)

図表2(2)1 小・中・高校生活の満足度(年代別)

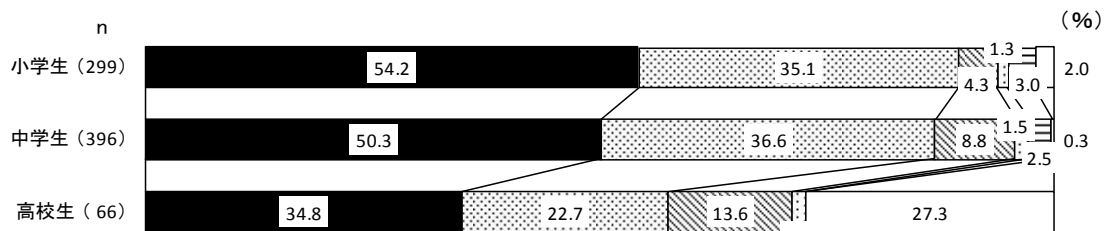
【授業の内容ややり方のこと】



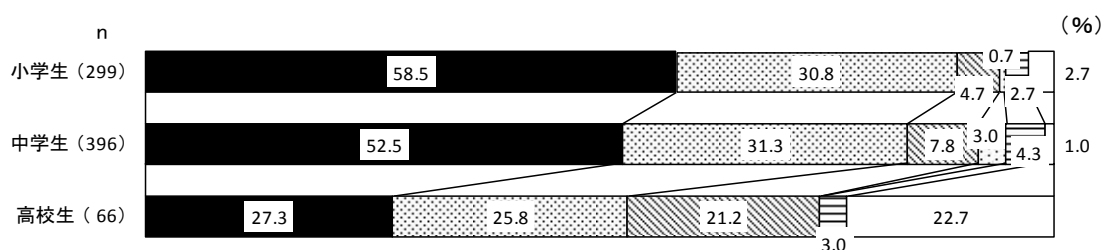
【先生のこと】



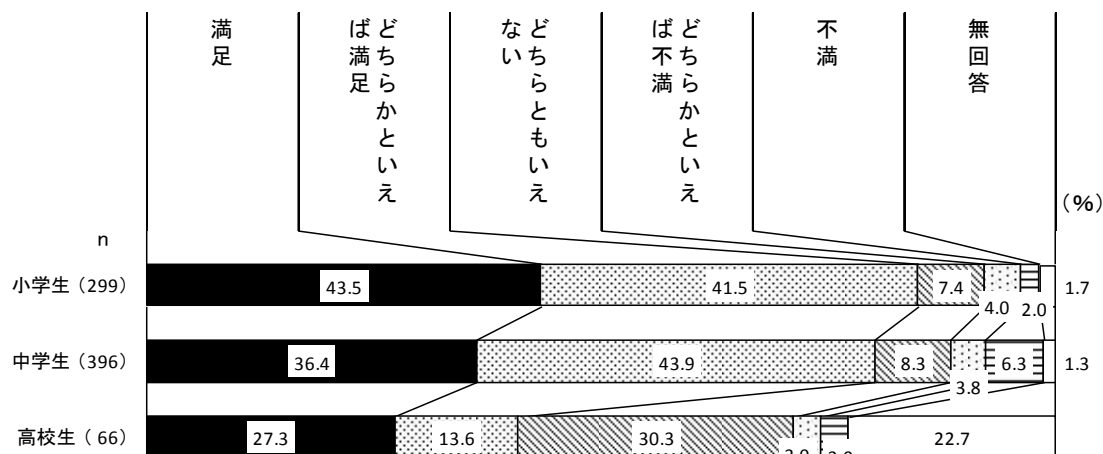
【クラスメイトのこと】



【部（クラブ）活動のこと】



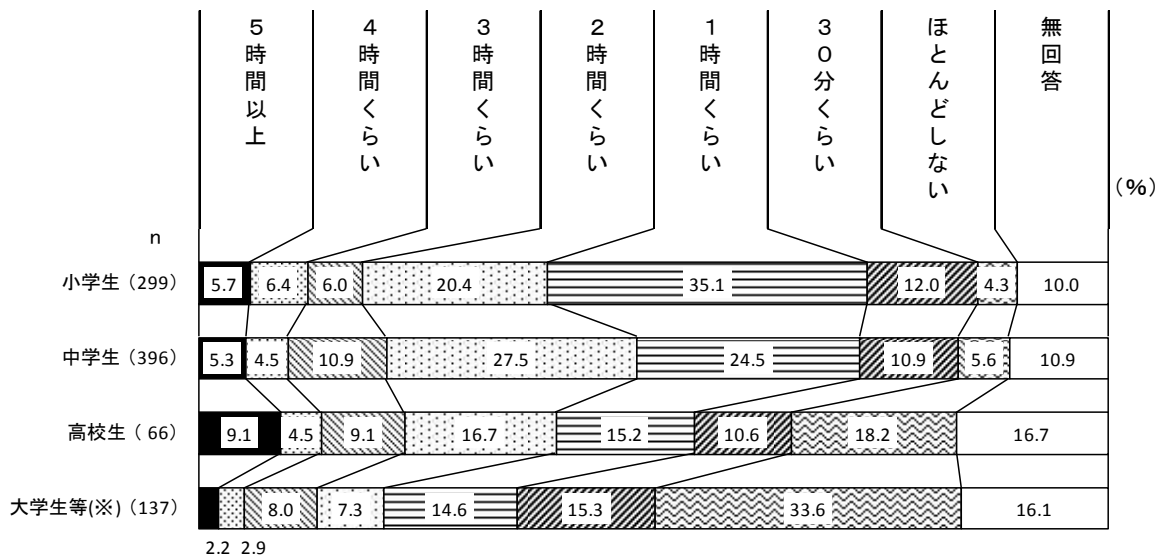
【学校生活の決まりのこと】



(3) 学校以外での学習時間 28ページ問17、75ページ問11

小学校から高校、大学等に通う青少年に学校以外での学習時間について聞いたところ、小学生では「1時間くらい」が、中学生では「2時間くらい」が、高校生以上では「ほとんどしない」が最も多くなっている。(図表2(3)1)

図表2(3)1 学校以外での学習時間(年代別)



※本問では「進学浪人中」を除く

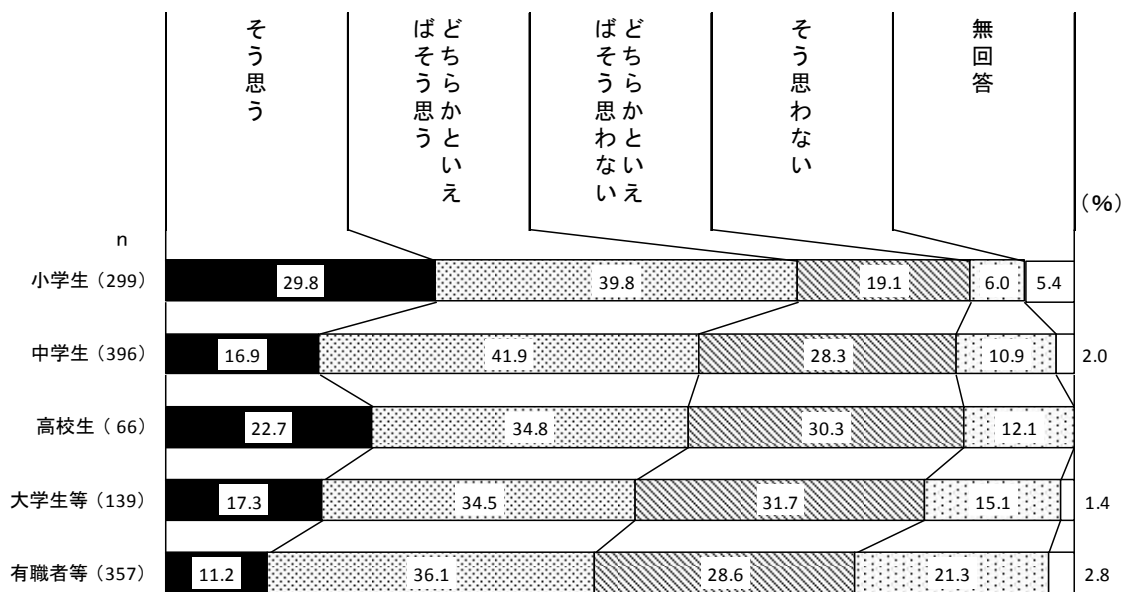
3 青少年の考え方、将来の希望・職業など

(1) 青少年の自分自身に対する感情 29ページ問18、81ページ問21

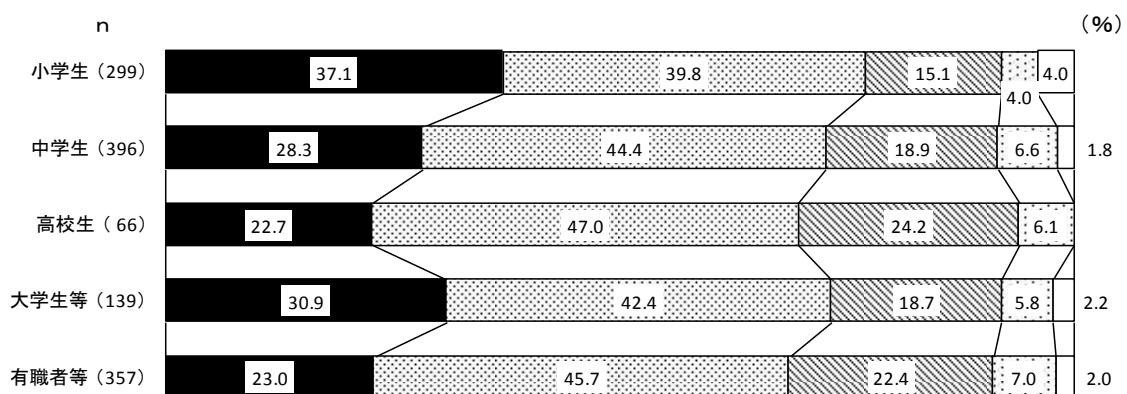
青少年に自分自身に対してあてはまる感情について聞いたところ、「あてはまる」と答えた割合が最も高い項目は、どの年代においても『自分の親から愛されてきた(大切にされてきた)と思う』となっている。(図表3(1)1)

図表3(1)1 青少年の自分自身に対する感情(年代別)

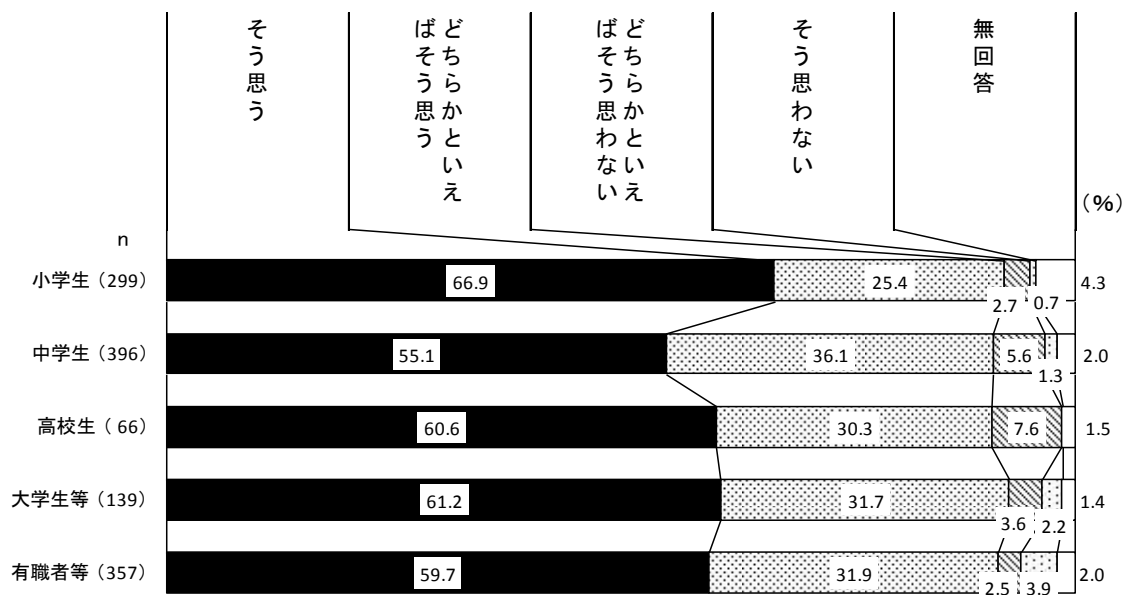
【私は自分自身に満足している】



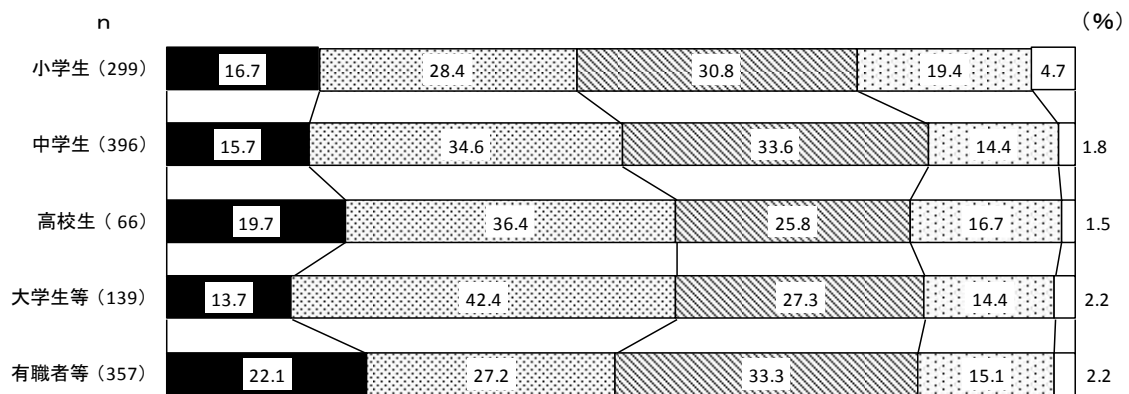
【自分には長所があると感じている】



【自分の親から愛されてきた（大切にされてきた）と思う】



【時々、自分は役に立たないと強く感じることもある】



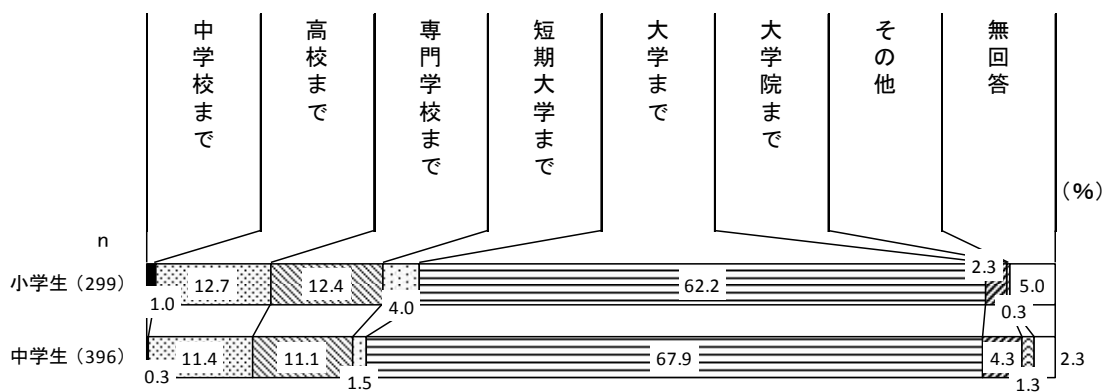
(2) 青少年の進学意向と保護者が希望する学歴

29ページ問19、158ページ問27

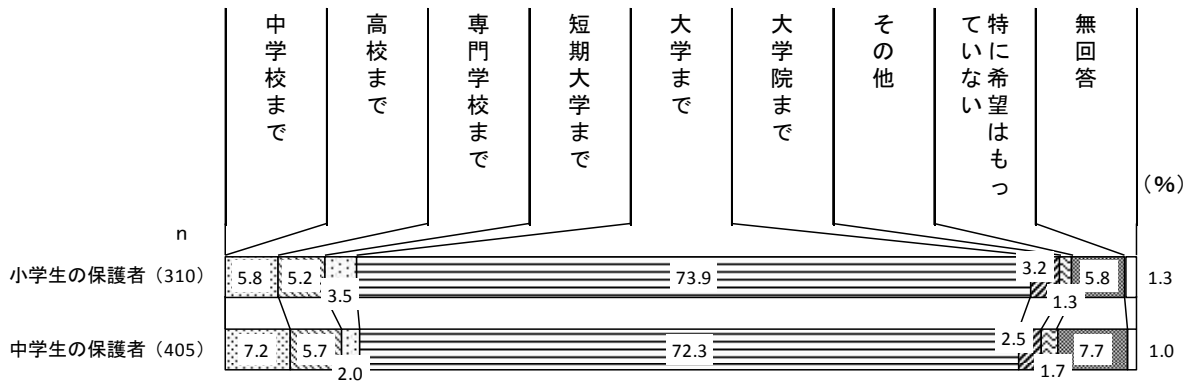
満10歳から満14歳までの青少年に将来どの学校まで行きたいか聞いたところ、「大学まで」と答えた割合が、小学生では62.2%、中学生では67.9%で最も高くなっている。(図表3(2)1)

また、保護者に理想的には子どもにどの段階の学校まで進んでほしいか聞いた結果を見ると、「大学まで」と答えた割合は、小学生の保護者では73.9%、中学生の保護者では72.3%となっている。(図表3(2)2)

図表3(2)1 満10～14歳の青少年の進学意向(年代別)



図表3(2)2 保護者が希望する学歴(子の年代別)

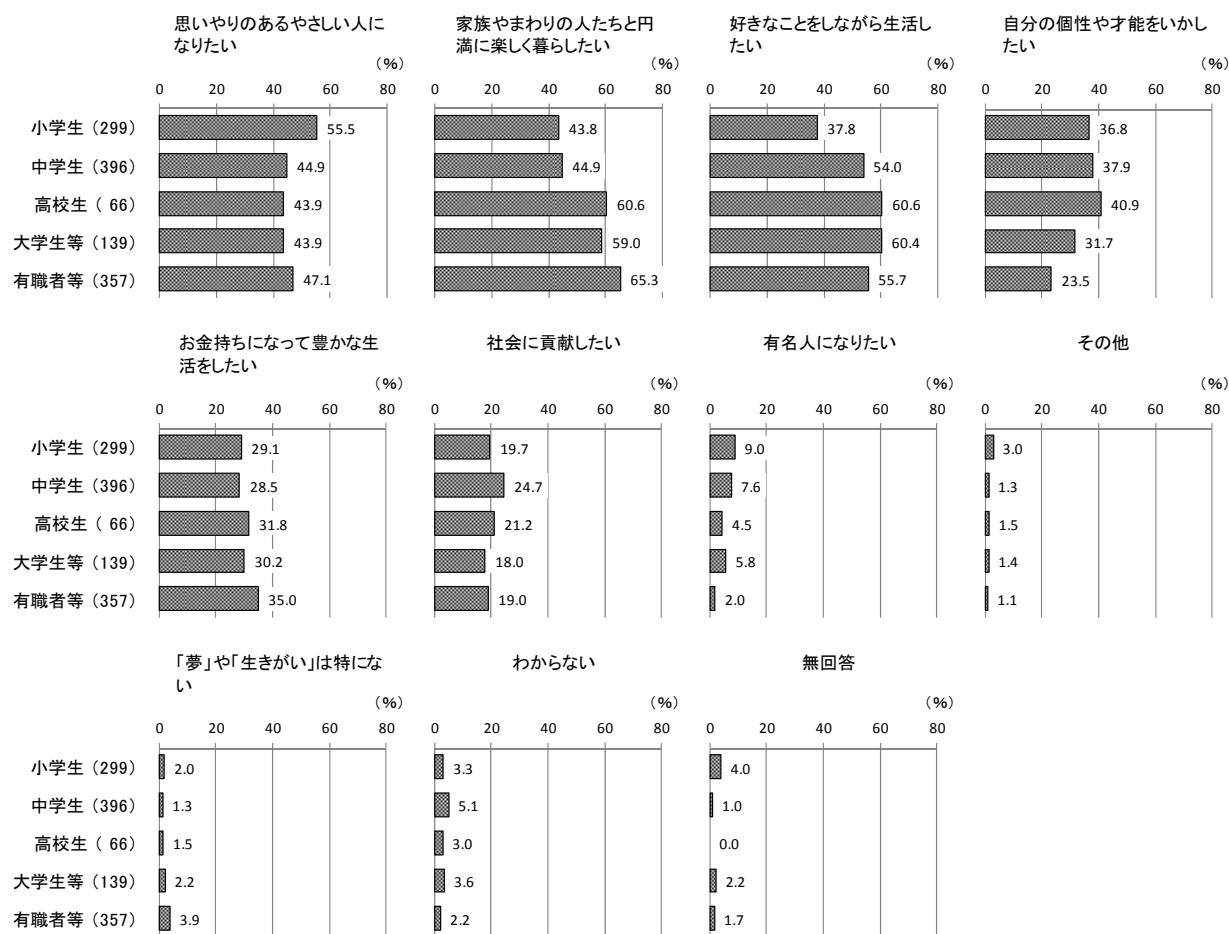


(3) 青少年の夢や生きがい 30ページ問20、82ページ問22

青少年に夢や生きがいについて複数回答で聞いたところ、小学生では「思いやりのある優しい人になりたい」が、中学生では「好きなことをしながら生活したい」が最も多くなっている。

また、高校生では「家族やまわりの人たちと円満に楽しく暮らしたい」及び「好きなことをしながら生活したい」が、大学生等では「好きなことをしながら生活したい」が、有職者等では「家族やまわりの人たちと円満に暮らしたい」が最も多くなっている。(図表3(3)1)

図表3(3)1 青少年の夢や生きがい(年代別)



(4) 将来就きたい職業 31ページ問21、83ページ問23

青少年に将来就きたい職業について聞いたところ、小学生・中学生では「画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど」が、高校生・大学生等では「会社員（営業など）」が最も多くなっている。（図表3（4）1）

図表3（4）1 将来就きたい職業（年代別経年変化）

調査年 順位	小学生(n = 299)		
	今回調査	平成23年調査	平成18年調査
第1位	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	スポーツ選手	スポーツ選手
第2位	スポーツ選手	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	看護師、保育士など
第3位	看護師、保育士など	看護師、保育士など	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど
第4位	料理人、理容師、美容師など	料理人、理容師、美容師など／歌手・俳優・タレントなど	料理人、理容師、美容師など
第5位	医師		歌手・俳優・タレントなど

調査年 順位	中学生(n = 396)		
	今回調査	平成23年調査	平成18年調査
第1位	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	スポーツ選手	スポーツ選手
第2位	看護師、保育士など	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど
第3位	スポーツ選手	看護師、保育士など	看護師、保育士など
第4位	医師	料理人、理容師、美容師など	歌手・俳優・タレントなど
第5位	料理人、理容師、美容師など	歌手・俳優・タレントなど	料理人、理容師、美容師など

調査年 順位	高校生(n = 66)		
	今回調査	平成23年調査	平成18年調査
第1位	会社員（営業など）	看護師、保育士など	プログラマー、建築士、技術者、通訳など
第2位	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	教員（小・中・高等学校の教員）	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど
第3位	公務員（一般事務など）／料理人、理容師、美容師など	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	看護師、保育士など
第4位	医師／教員（小・中・高等学校の教員）／大学教授、科学者／看護師、保育士など	公務員（一般事務など）	教員（小・中・高等学校の教員）
第5位		会社員（営業など）	会社員／公務員

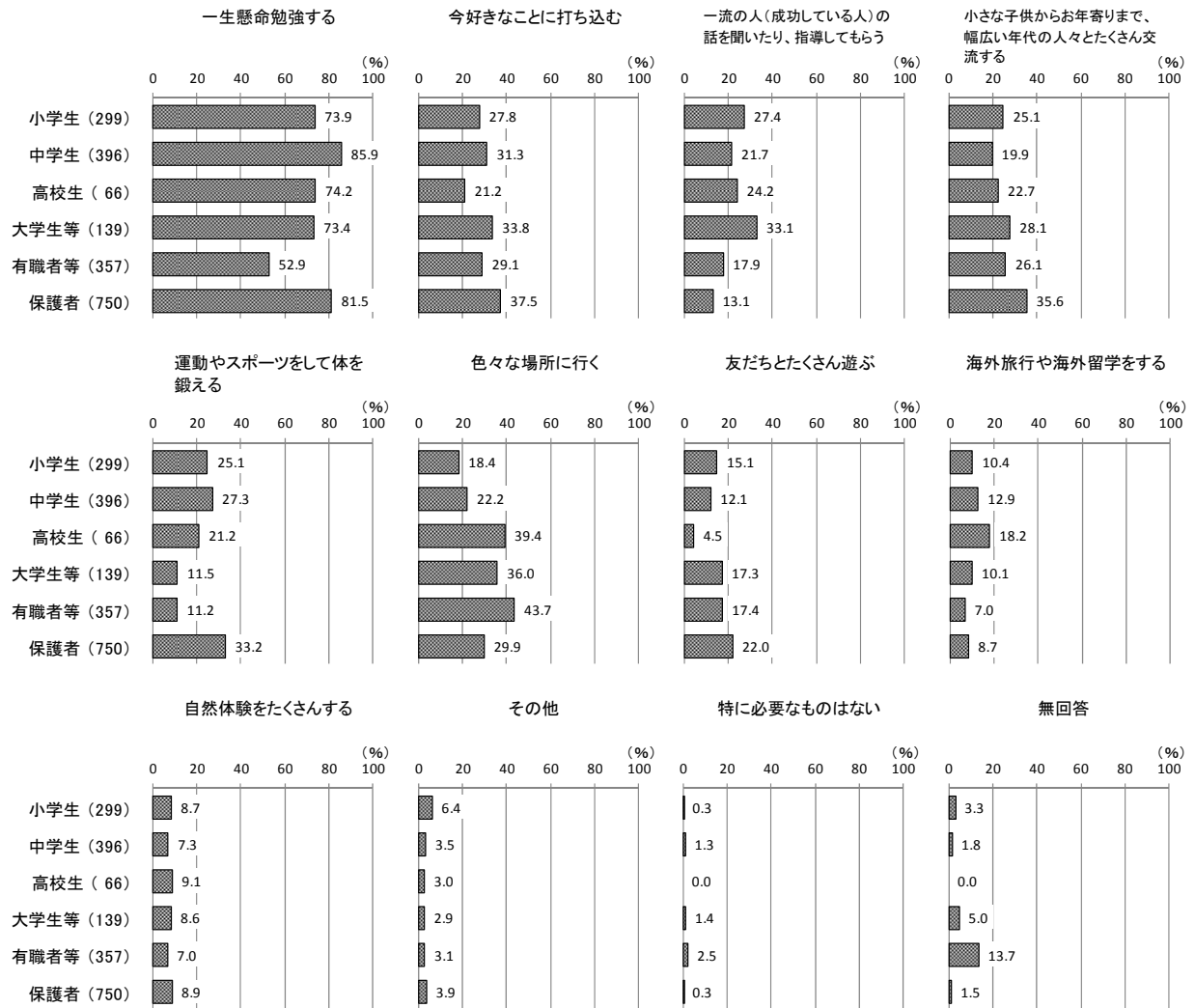
調査年 順位	大学生等(n = 139)		
	今回調査	平成23年調査	平成18年調査
第1位	会社員（営業など）	会社員（営業など）	会社員
第2位	公務員（一般事務など）	公務員（一般事務など）	プログラマー、建築士、技術者、通訳など
第3位	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	公務員
第4位	教員（小・中・高等学校の教員）	看護師、保育士など	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど
第5位	料理人、理容師、美容師など	教員（小・中・高等学校の教員）／画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	教員（小・中・高等学校の教員）

(5) 夢をかなえたり希望する仕事をするために必要なこと

33ページ問22、85ページ問24、160ページ問29

青少年及び保護者に、青少年が自分の夢をかなえたり希望する仕事をするために必要なことについて複数回答で聞いたところ、どの年代においても「一生懸命勉強する」が最も多くなっている。(図表3(5)1)

図表3(5)1 夢をかなえたり希望する仕事をするために必要なこと(年代別)

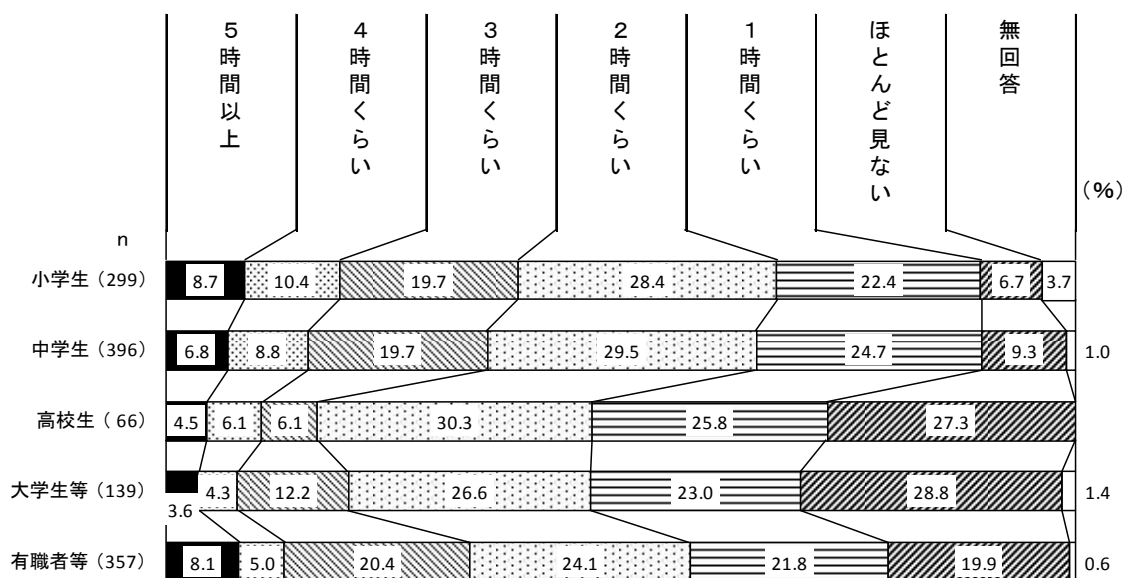


4 自由時間（休日、余暇）、友達など

(1) テレビを見る時間 34ページ問23、92ページ問25

青少年にテレビを見る時間について聞いたところ、大学生等では「ほとんど見ない」が、大学生等以外では「2時間くらい」が最も多くなっている。(図表4(1)1)

図表4(1)1 テレビを見る時間(年代別)

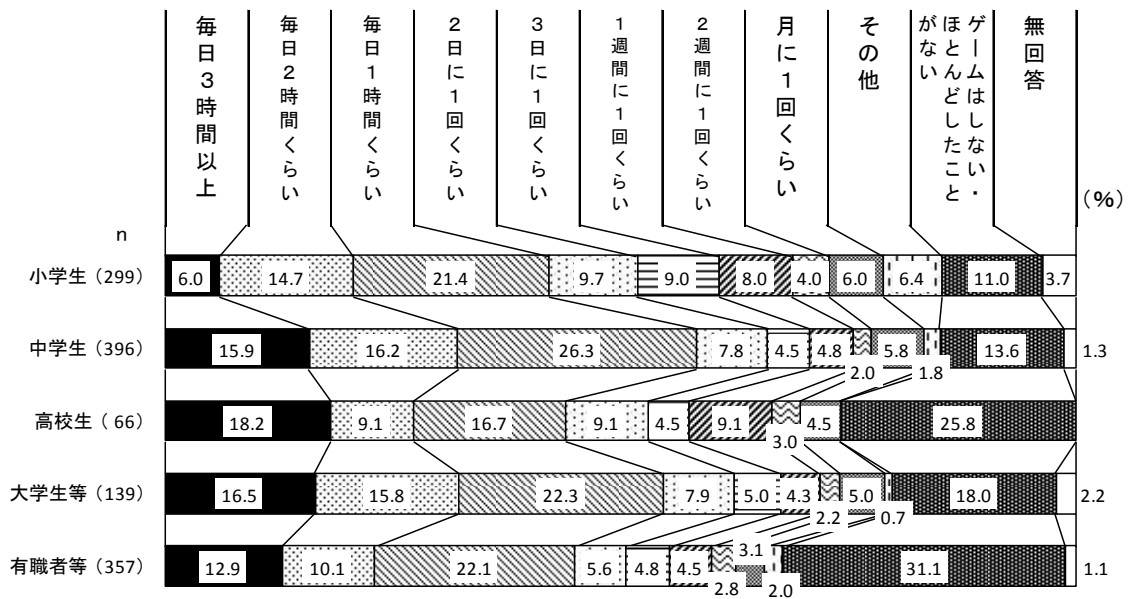


(2) ゲームをする時間・頻度 35ページ問24、93ページ問26

青少年にゲームをする時間・頻度について聞いたところ、小学生・中学生・大学生等では「毎日1時間くらい」が最も多くなっている。

また、年代が上がるにつれて「ゲームはしない、ほとんどしたことがない」の割合が増える傾向にある一方で、毎日1時間以上ゲームをする割合はどの年代でも高く、小学生では42.1%、中学生では58.4%、高校生では44.0%、大学生等では54.6%、有職者等では45.1%となっている。(図表4(2)1)

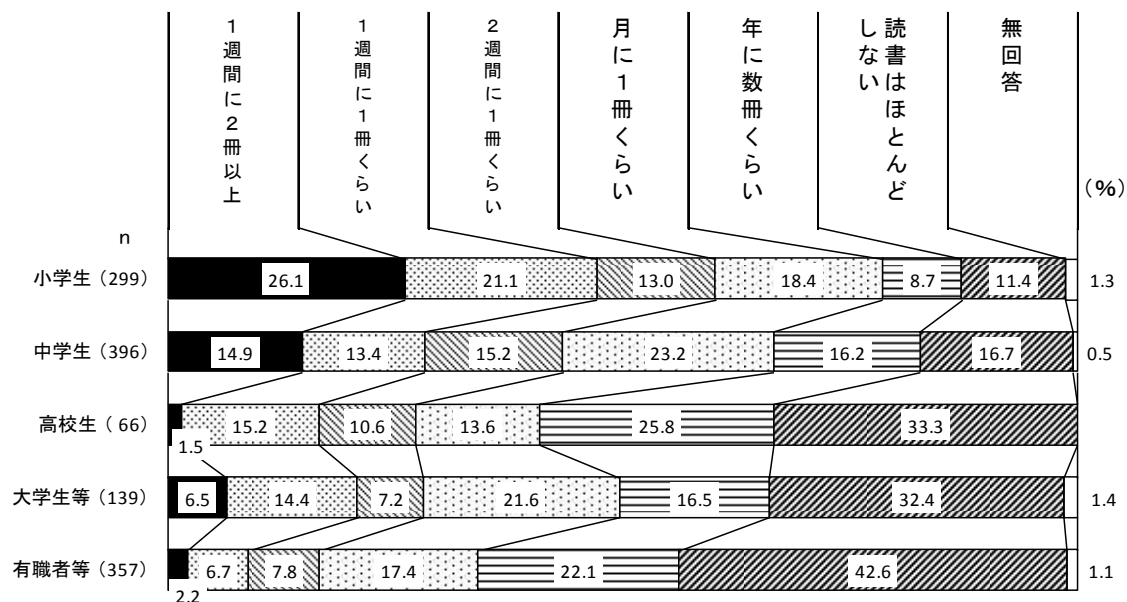
図表4(2)1 ゲームをする時間・頻度(年代別)



(3) 読書量 36ページ問25、94ページ問27

青少年に読書量（マンガや雑誌を除く）について聞いたところ、小学生では「1週間に2冊以上」が、中学生で「月に1冊くらい」が、高校生以上では「読書はほとんどしない」が最も多くなっている。（図表4（3）1）

図表4（3）1 読書量（年代別）



(4) 休日の過ごし方 37ページ問26、95ページ問40

青少年に休日の過ごし方について複数回答で聞いたところ、小学生・中学生では「テレビを見る」が、高校生では「インターネットを見る」が、大学生等では「友達と一緒に遊ぶ」が最も多くなっている。(図表4(4)1)

図表4(4)1 休日の過ごし方(年代別経年変化)

調査年 順位	小学生(n = 299)		
	今回調査 (%)	平成23年調査 (%)	平成18年調査 (%)
第1位	テレビを見る (68.9)	テレビを見る (66.0)	友達と一緒に遊ぶ (60.7)
第2位	ゲームをする (56.9)	友だちと遊ぶ (62.7)	テレビを見る (59.9)
第3位	友だちと遊ぶ (55.5)	家族と買い物をする (46.9)	家族と買い物をする (47.3)
第4位	家族と買い物をする (54.2)	マンガや雑誌を見る (40.1)	マンガや雑誌を見る (41.5)
第5位	塾や習い事に行く (48.8)	勉強(学習塾以外)をする (36.4)	テレビゲームをする (40.4)

調査年 順位	中学生(n = 396)		
	今回調査 (%)	平成23年調査 (%)	平成18年調査 (%)
第1位	テレビを見る (70.5)	友だちと遊ぶ (71.1)	友達と一緒に遊ぶ (71.4)
第2位	友だちと遊ぶ (61.1)	テレビを見る (67.3)	テレビを見る (67.2)
第3位	部(クラブ)活動をする (56.3)	部(クラブ)活動をする (58.7)	マンガや雑誌を見る (54.7)
第4位	ゲームをする (50.5)	マンガや雑誌を見る (40.0)	部(クラブ)活動をする (49.8)
第5位	インターネットを見る (42.7)	勉強(学習塾以外)をする (39.7)	テレビゲームをする (40.9)

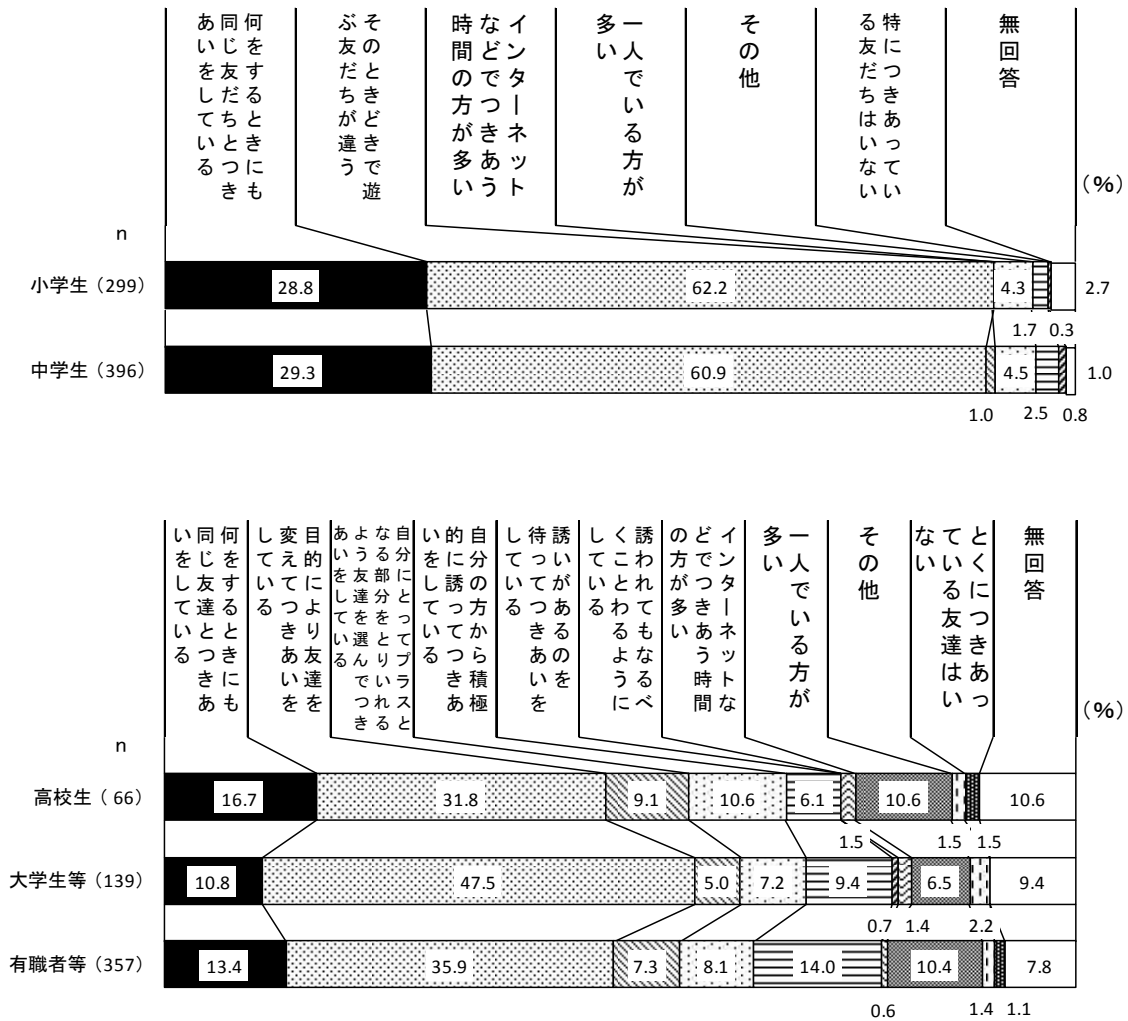
調査年 順位	高校生(n = 66)		
	今回調査	平成23年調査	平成18年調査
第1位	インターネットを見る (62.1)	テレビを見る (64.8)	テレビを見る (63.9)
第2位	テレビを見る (57.6)	友達と一緒に遊ぶ (62.0)	友達と一緒に遊ぶ (61.1)
第3位	友達と一緒に遊ぶ (47.0)	マンガや雑誌を見る (50.7)	ラジオや音楽を聴く (58.3)
第4位	勉強(予備校や学習塾以外)をする (42.4)	何もしないでのんびりする (42.3)	マンガや雑誌を見る (52.8)
第5位	何もしないでのんびりする (42.4)	ラジオや音楽を聴く (42.3)	何もしないでのんびりする (47.2)

調査年 順位	大学生等(n = 139)		
	今回調査	平成23年調査	平成18年調査
第1位	友達と一緒に遊ぶ (69.8)	友達と一緒に遊ぶ (69.8)	友達と一緒に遊ぶ (64.8)
第2位	インターネットを見る (68.3)	アルバイトをする (61.5)	テレビを見る (63.8)
第3位	テレビを見る (61.9)	テレビを見る (60.4)	アルバイトをする (60.1)
第4位	何もしないでのんびりする (51.2)	何もしないでのんびりする (56.6)	何もしないでのんびりする (51.2)
第5位	アルバイトをする (51.8)	マンガや雑誌を見る (44.5)	マンガや雑誌を見る (50.2)

(5) 友達とのつきあい方 44ページ問30、97ページ問41

青少年に友達とのつきあい方について聞いたところ、小学生・中学生では「そのときどきで遊ぶ友達が違う」が、高校生以上では「目的により友達を変えてつきあいをしている」が最も多くなっている。(図表4(5)1)

図表4(5)1 友達とのつきあい方(年代別)

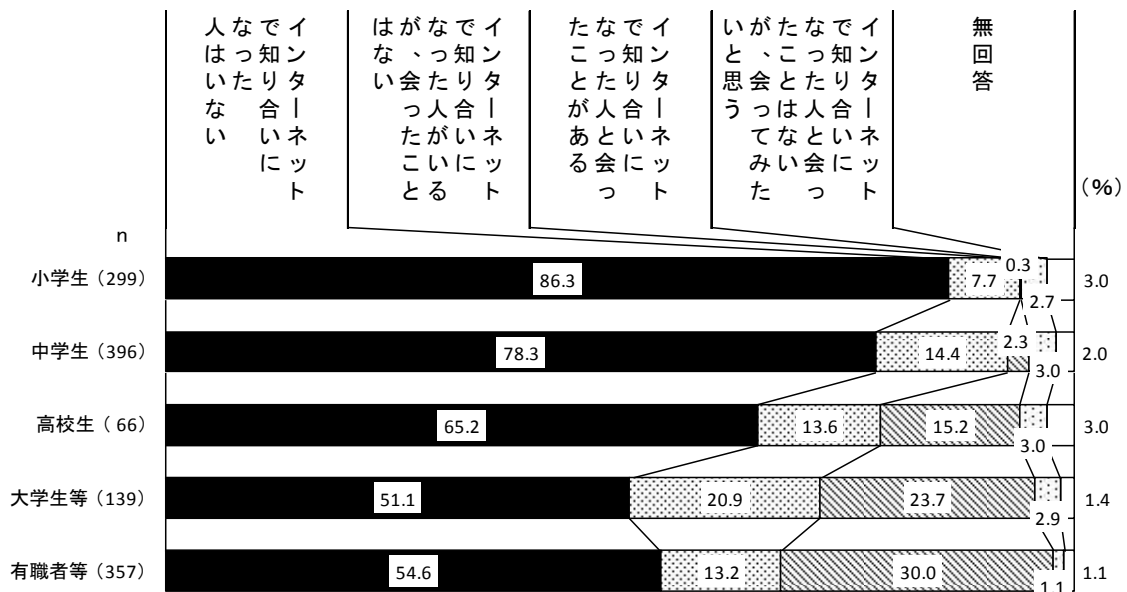


(6) インターネットでの知り合いの有無 45 ページ問 31、107 ページ問 36

青少年にインターネットでの知り合いの有無について聞いたところ、どの年代でも「インターネットで知り合いになった人はいない」が最も多くなっている。

また、年代が上がるにつれて、「インターネットで知り合いになった人と会ったことがある」は増加傾向にあり、有職者等では 30.0% となっている。(図表 4 (6) 1)

図表 4 (6) 1 インターネットでの知り合いの有無 (年代別)



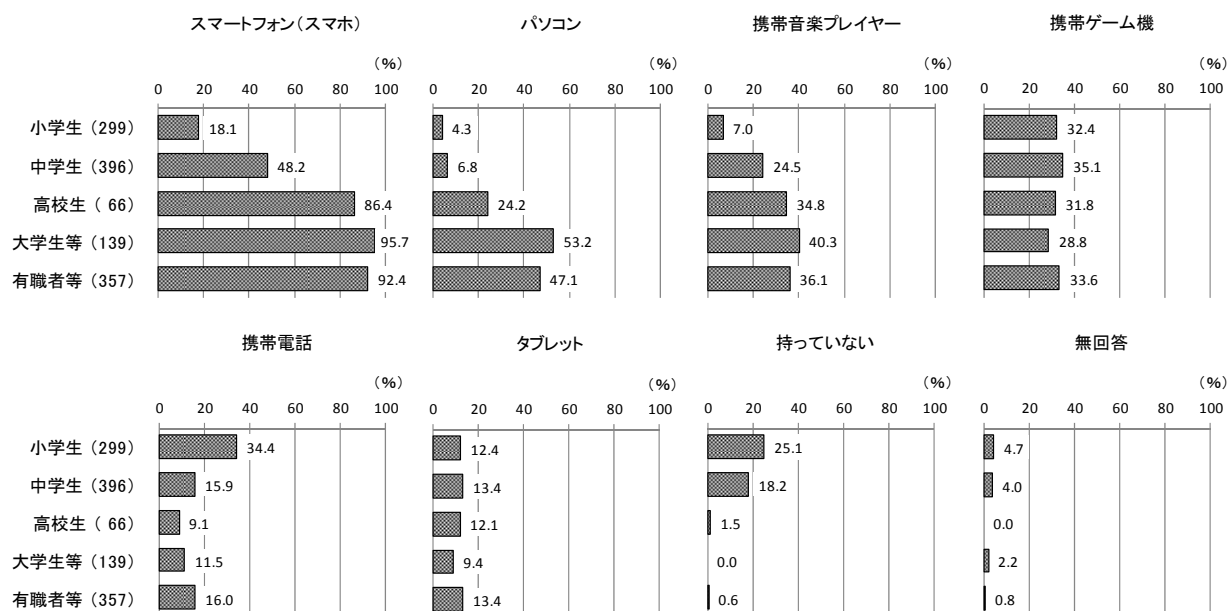
5 携帯電話・スマートフォン、携帯電話等でのインターネット利用

(1) インターネットに接続できる自分専用の機器及び携帯電話・スマートフォンの保有状況 46ページ問32、98ページ問28

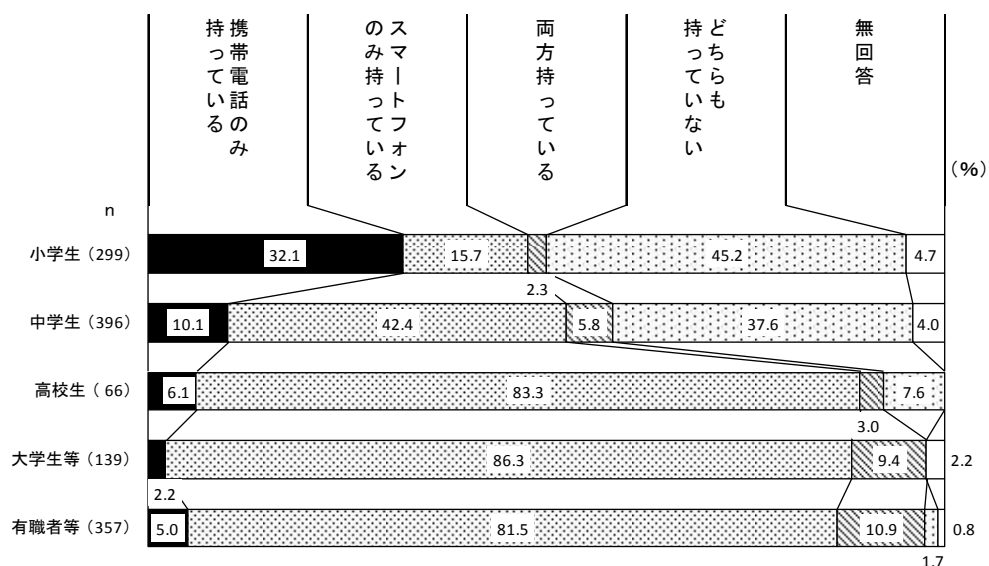
青少年にインターネットに接続できる自分専用の機器について複数回答で聞いたところ、小学生では「携帯電話」が、中学生以上では「スマートフォン」が最も多くなっている。(図表5(1)1)

また、携帯電話・スマートフォンに限定してみると、「携帯電話のみ持っている」、「スマートフォンのみ持っている」、「両方持っている」の合計は、小学生では50.1%、中学生では58.3%、高校生以上では9割以上となっている。(図表5(1)2)

図表5(1)1 インターネットに接続できる自分専用の機器(年代別)



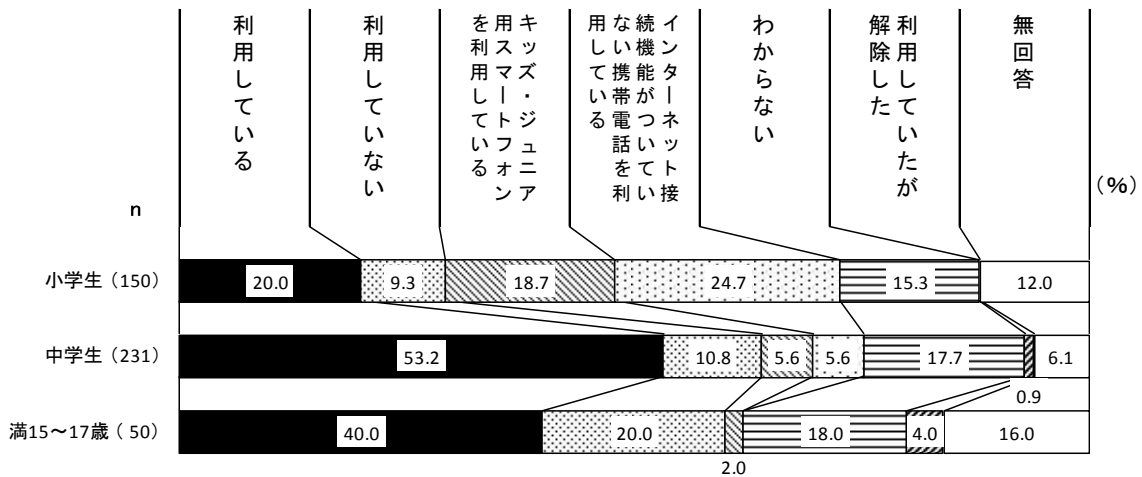
図表5(1)2 携帯電話・スマートフォンの保有状況(年代別)



(2) フィルタリングサービスの利用状況 48ページ問34、99ページ問29

18歳未満の青少年に自分専用で使っている携帯電話等のフィルタリングサービスの利用状況について聞いたところ、小学生では「インターネット接続機能がついていない携帯電話を利用している」が、中学生と満15～17歳では「利用している」が最も多くなっている。(図表5(2)1)

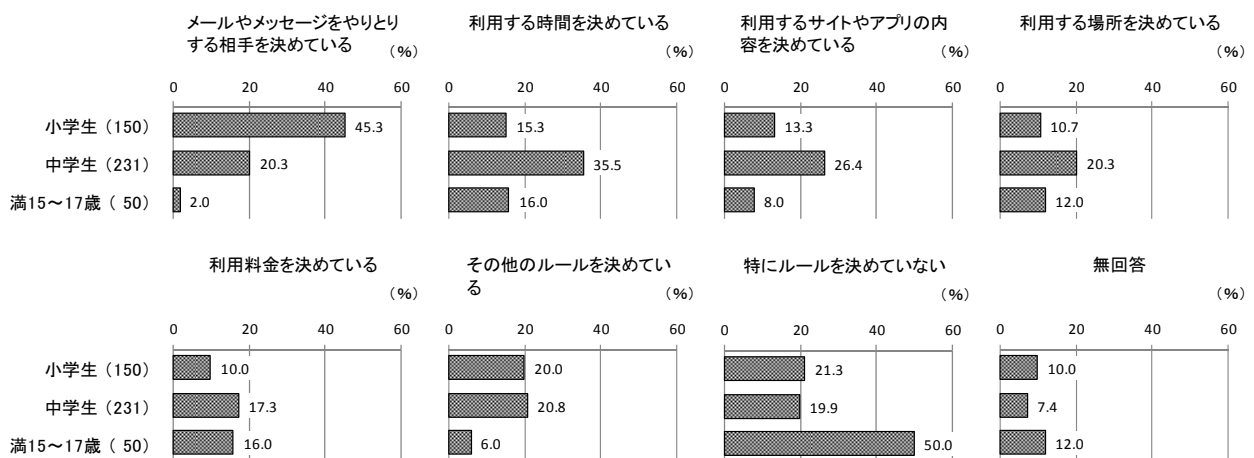
図表5(2)1 フィルタリングサービスの利用状況(年代別)



(3) 携帯電話等の利用のルール 49ページ問35、100ページ問30

18歳未満の青少年に自分専用で使っている携帯電話等の利用のルールについて複数回答で聞いたところ、小学生では「メールやメッセージをやりとりする相手を決めている」(45.3%)が、中学生では「利用する時間を決めている」(35.5%)が、満15～17歳では「特にルールを決めていない」(50.0%)が最も多くなっている。(図表5(3)1)

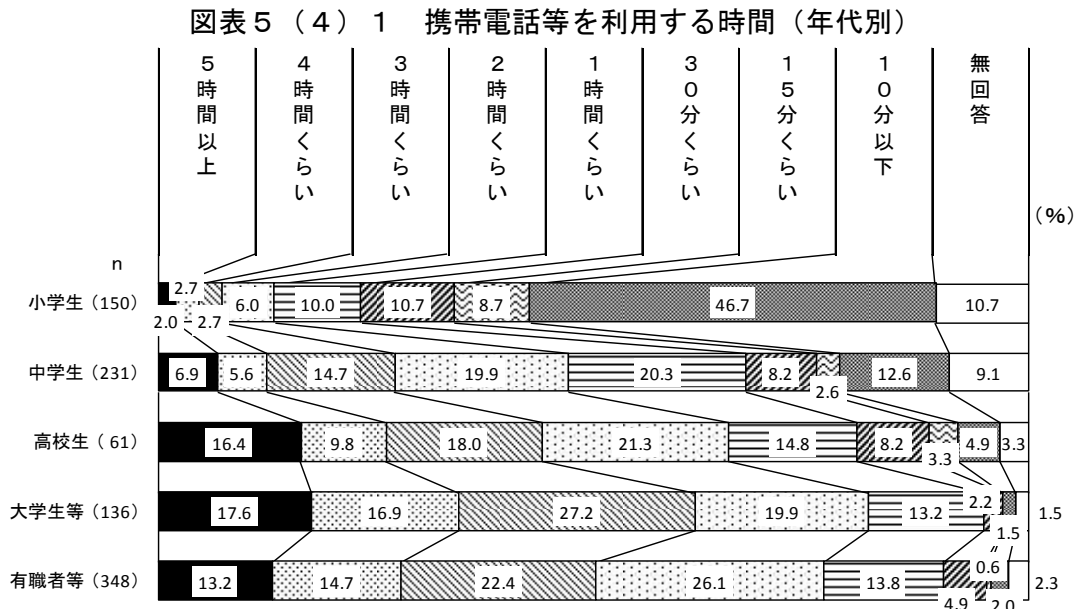
図表5(3)1 携帯電話等の利用のルール(年代別)



(4) 携帯電話等を利用する時間 50ページ問36、101ページ問31

青少年に自分専用で使っている携帯電話等の利用時間数について聞いたところ、小学生では「10分以下」が、中学生では「1時間くらい」が、高校生・有職者等では「2時間くらい」が、大学生等では「3時間くらい」が最も多くなっている。

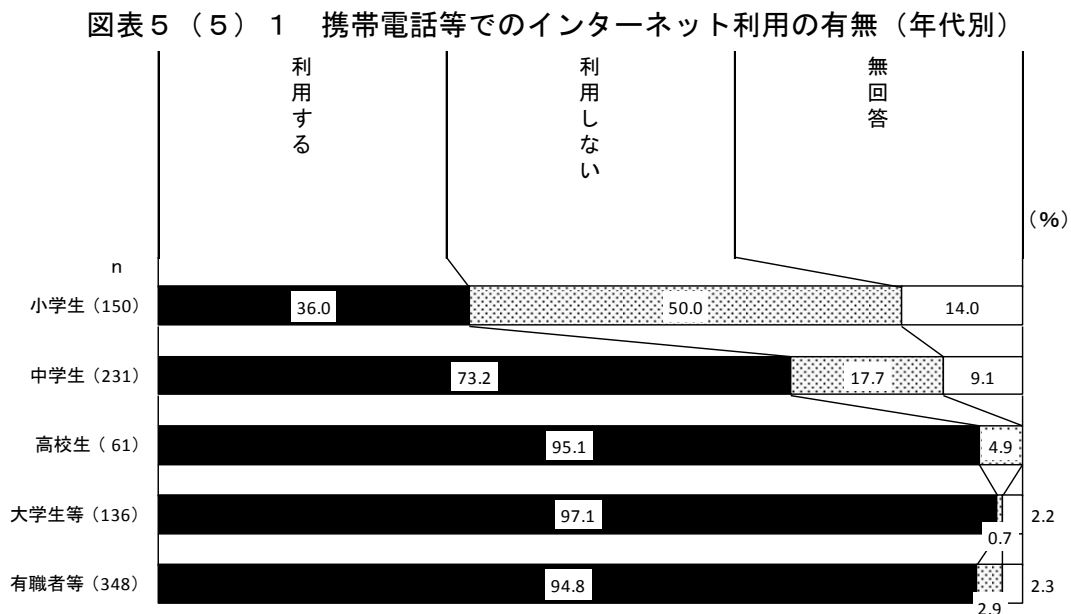
また、1時間以上の利用は中学生の段階で6割を超えている。(図表5(4)1)



(5) 携帯電話等でのインターネット利用の有無

50ページ問37、101ページ問32

青少年に自分専用で使っている携帯電話等でインターネットを利用するか聞いたところ、小学生では「利用しない」が、中学生以上では「利用する」が最も多く、高校生以上では9割を超えている。(図表5(5)1)

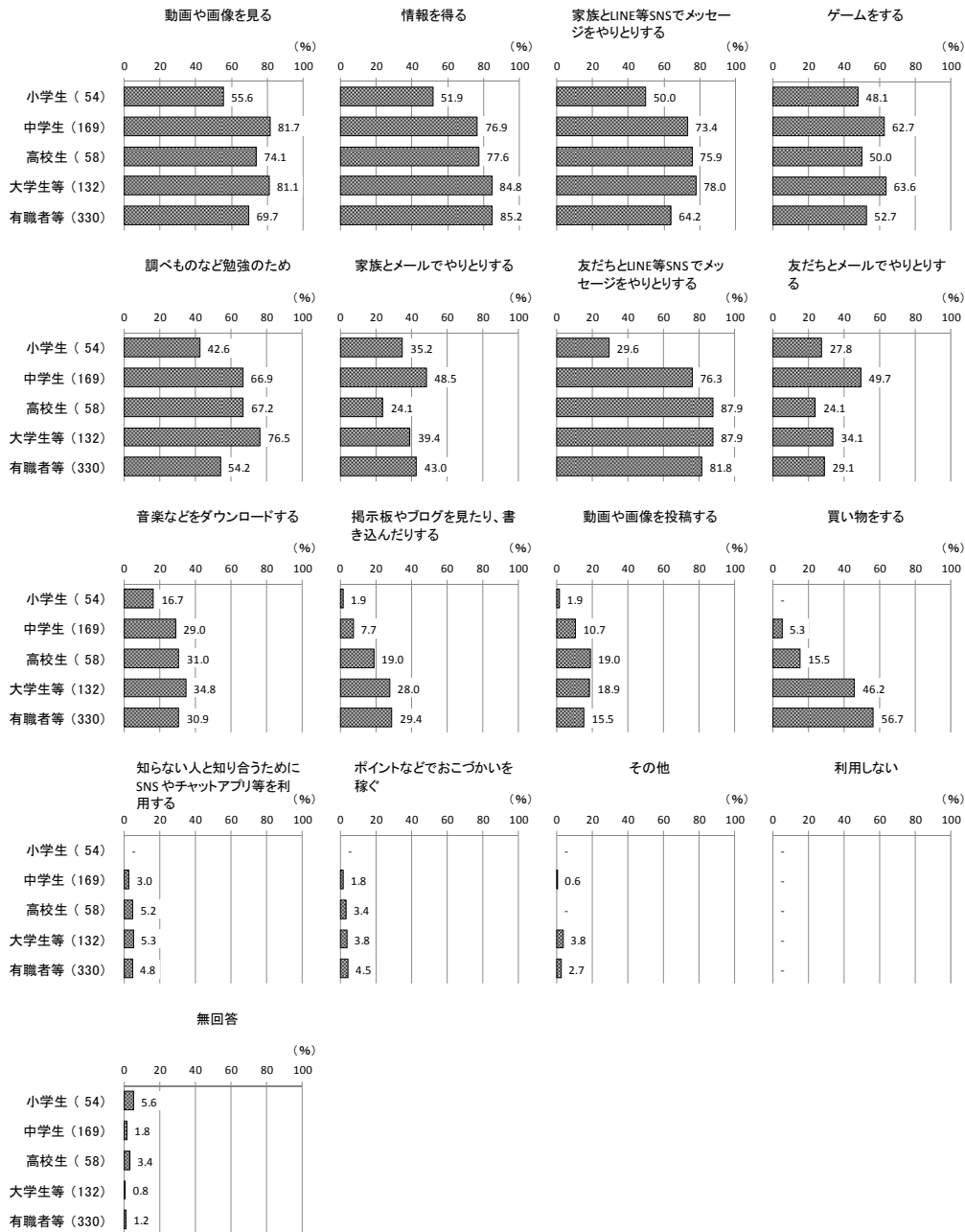


(6) 携帯電話等でインターネットを利用する目的

51ページ問38、102ページ問33

青少年に自分専用で使っている携帯電話等でインターネットを利用する目的について複数回答で聞いたところ、小学生・中学生では「動画や画像を見る」が、高校生・大学生等では「友達とLINE等でSNSでメッセージやりとりする」が、有職者等では「情報を得る」が最も多くなっている。(図表5(6)1)

図表5(6)1 携帯電話等でインターネットを利用する目的(年代別)

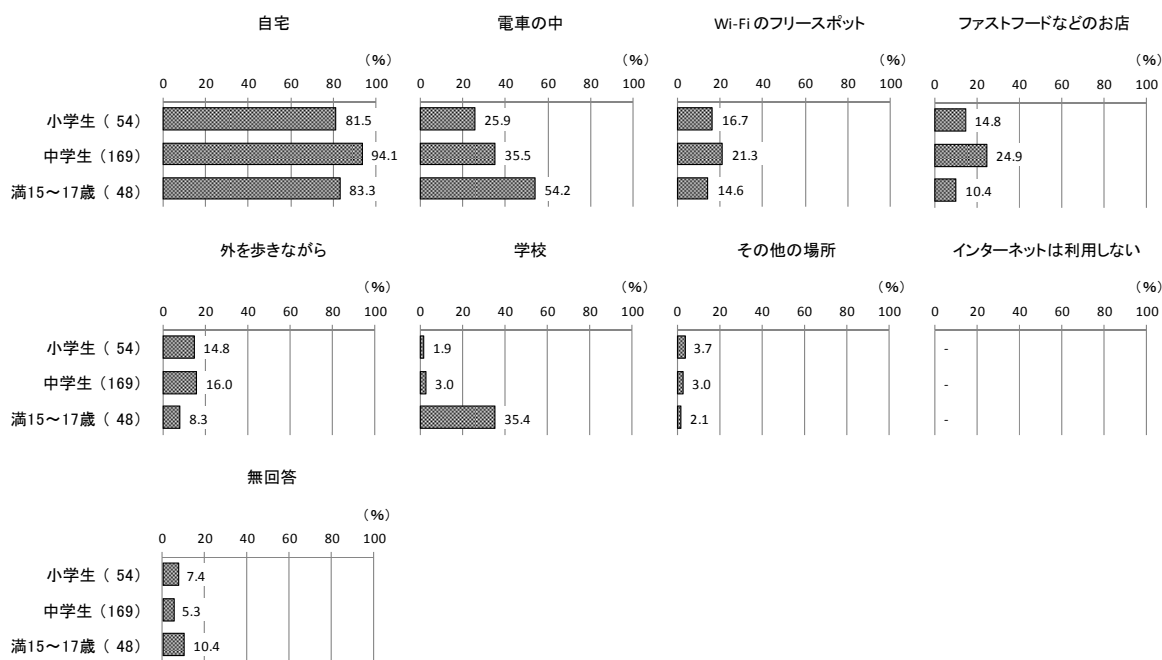


(7) 携帯電話等でインターネットを利用する場所

53ページ問39、104ページ問34

18歳未満の青少年に自分専用で使っている携帯電話等でインターネットを利用する場所について複数回答で聞いたところ、どの年代でも「自宅」が最も多くなっている。(図表5(7)1)

図表5(7)1 携帯電話等でインターネットを利用する場所(年代別)

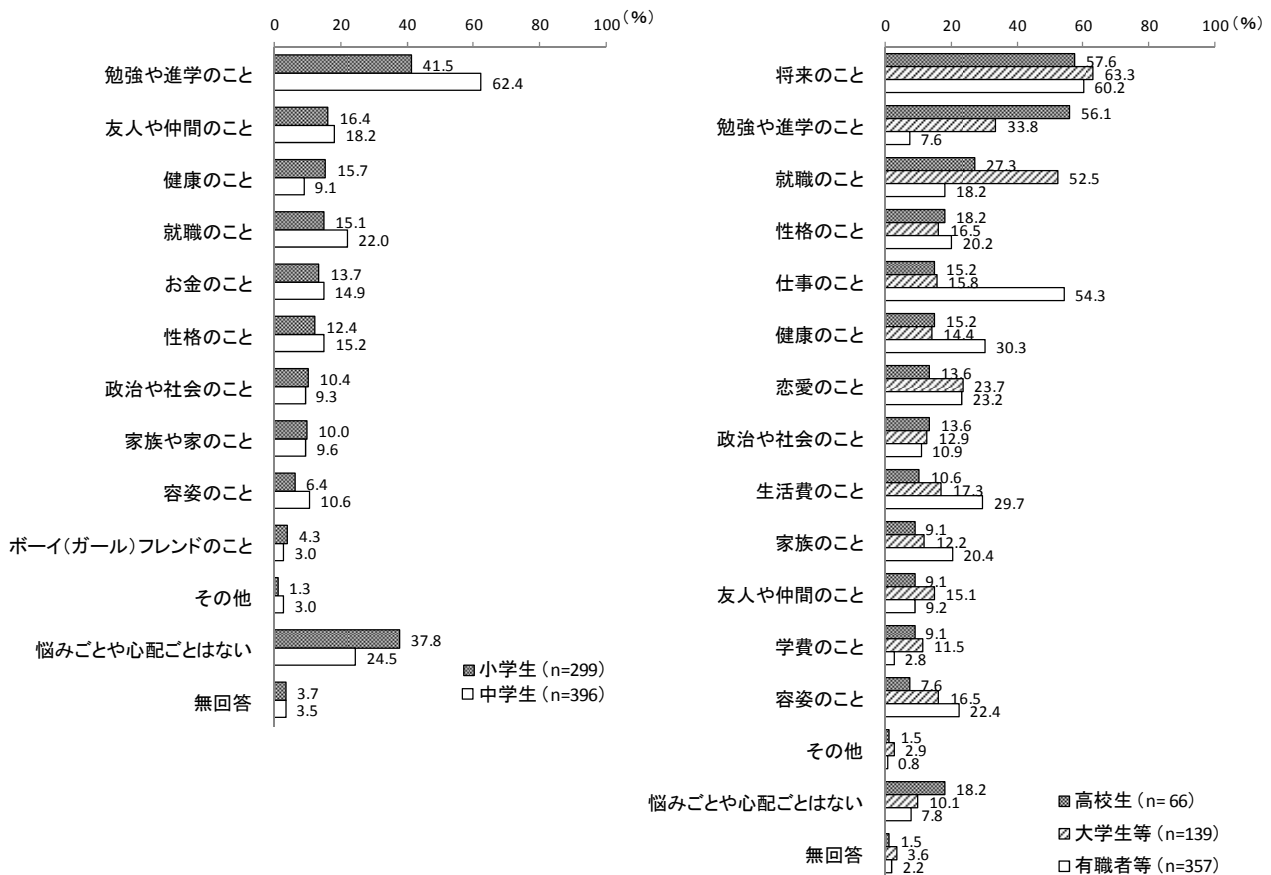


6 悩みごとや心配ごと、悩みごとの相談相手など

(1) 悩みごとや心配ごと 54ページ問40、108ページ問46

青少年に悩みごとや心配ごとの内容について複数回答で聞いたところ、小学生・中学生では「勉強や進学のこと」、高校生以上では「将来のこと」が最も多くなっている。(図表6(1)1)

図表6(1)1 悩みごとや心配ごと(年代別)

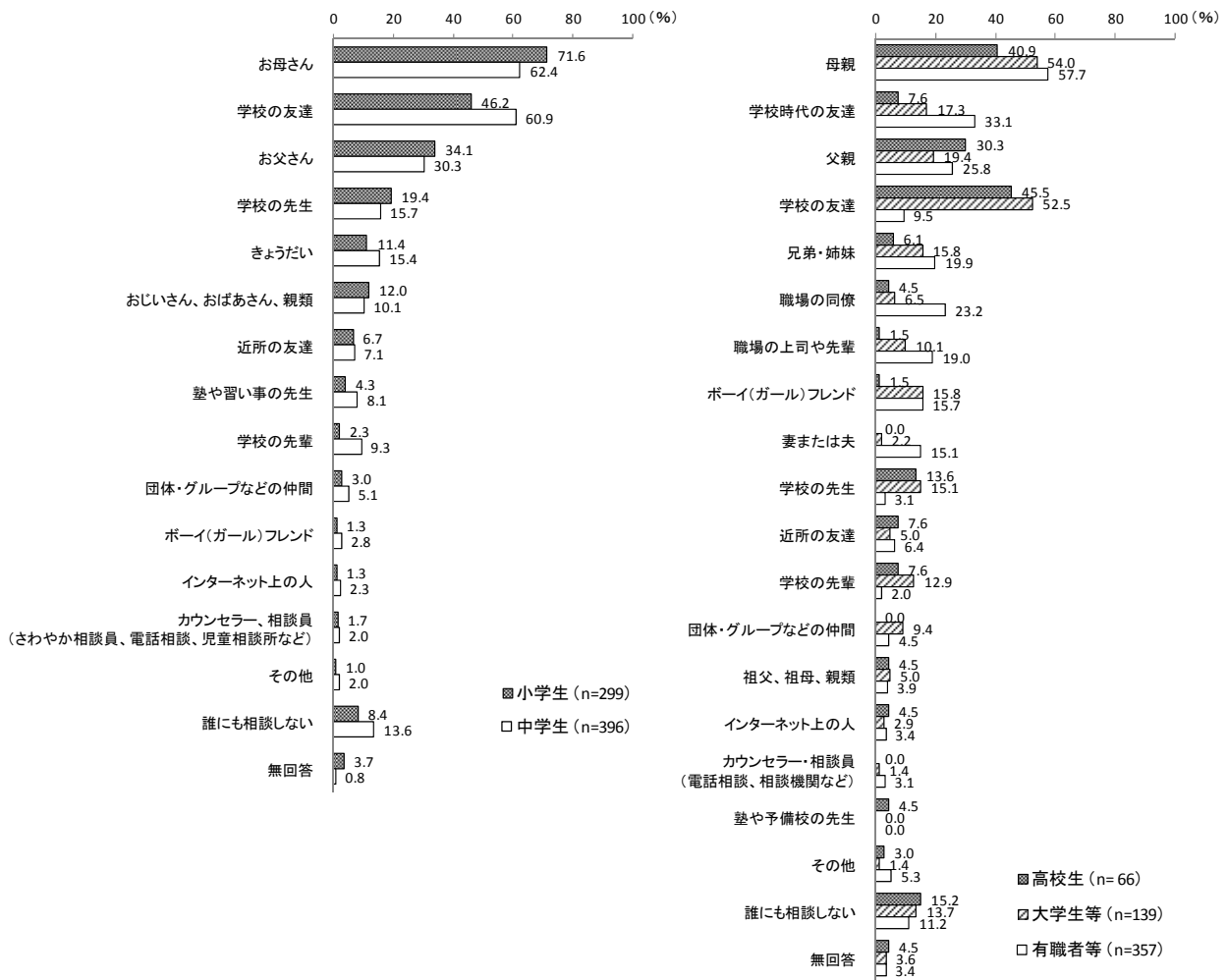


(2) 悩みごとの相談相手

55ページ問41、109ページ問47

青少年に悩みごとの相談相手について複数回答で聞いたところ、高校生では「学校の友達」が、高校生以外の年代では「母親」が最も多くなっている。(図表6(2)1)

図表6(2)1 青少年の悩みごとの相談相手(年代別)

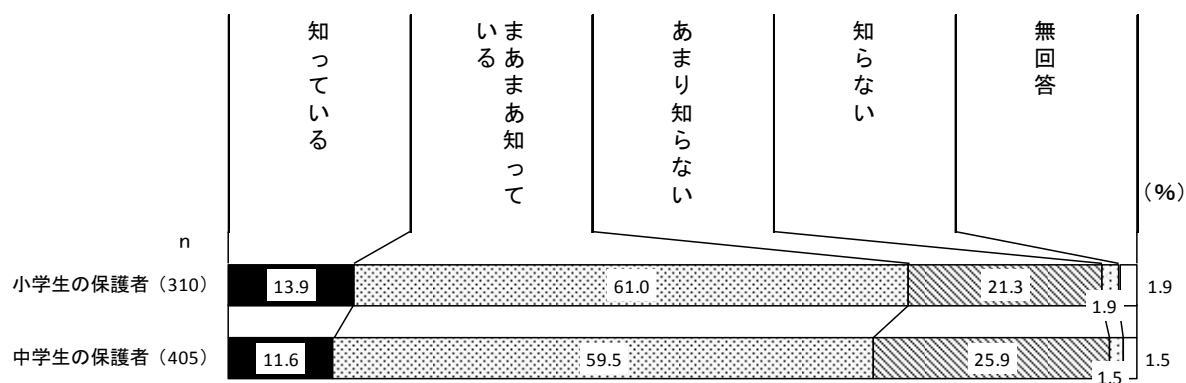


(3) 保護者は子どもの困っていることを知っているか 137ページ問14

「6(2) 悩みごとの相談相手」では、どの年代でも「母親」及び「父親」は上位となっている。(図表6(2)1(前掲))

そこで、保護者に子どものことで知っていることを聞いた結果を参照してみると、『子どもが困っていることや悩んでいること』について「知っている」と「まあまあ知っている」を合わせた割合は、小学生の保護者では74.9%、中学生の保護者では71.1%となっている。(図表6(3)1)

図表6(3)1 子どものことで知っていること(子の年代別)



(4) 人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに対する共感

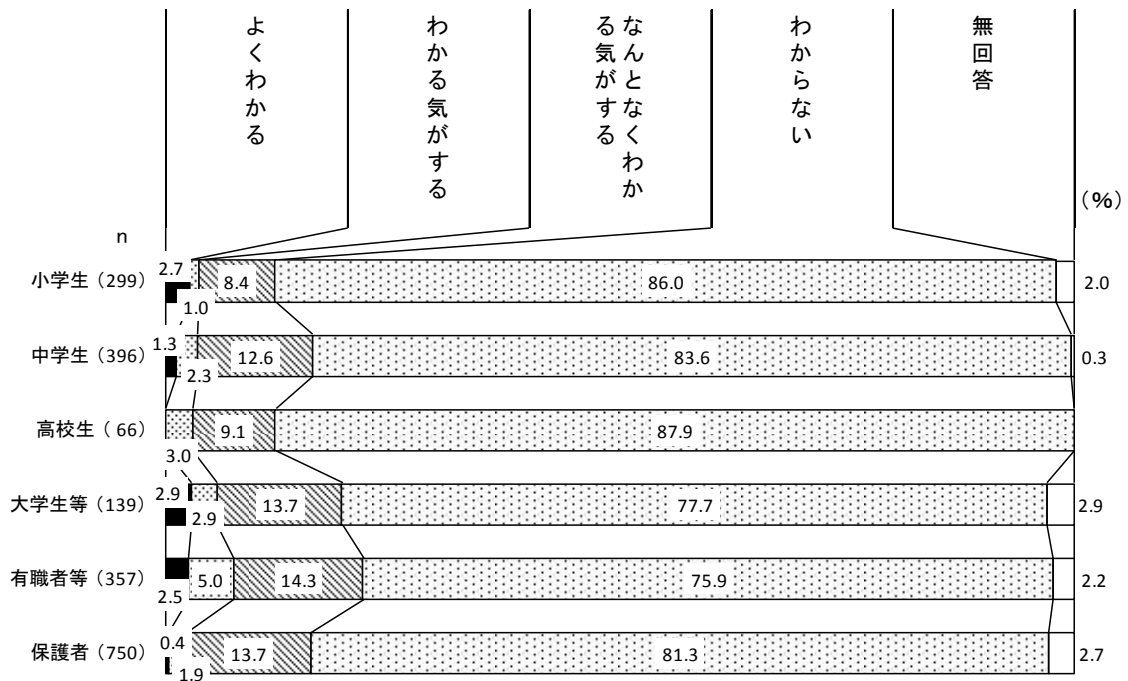
56ページ問42、110ページ問48、174ページ問38

青少年及び保護者に、青少年が他人の命を奪ったり、自分の命を絶ったりする事件についてどう思うか聞いたところ、どの年代でも「わからない」が最も多くなっている。

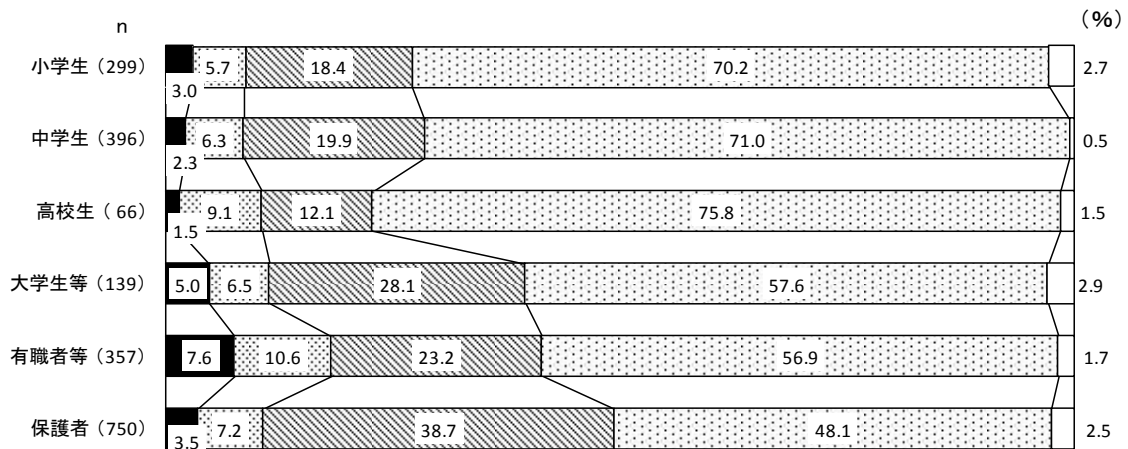
『人の命を奪いたくなるような気持ち』と『自分の命を絶つというような気持ち』を比べると、『自分の命を絶つというような気持ち』に対する共感の割合が高くなっている。(図表6(4)1)

図表6(4)1 人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに対する共感(年代別)

a) 人の命を奪いたくなるような気持ち



b) 自分の命を絶つというような気持ち



7 青少年の非行・健全育成

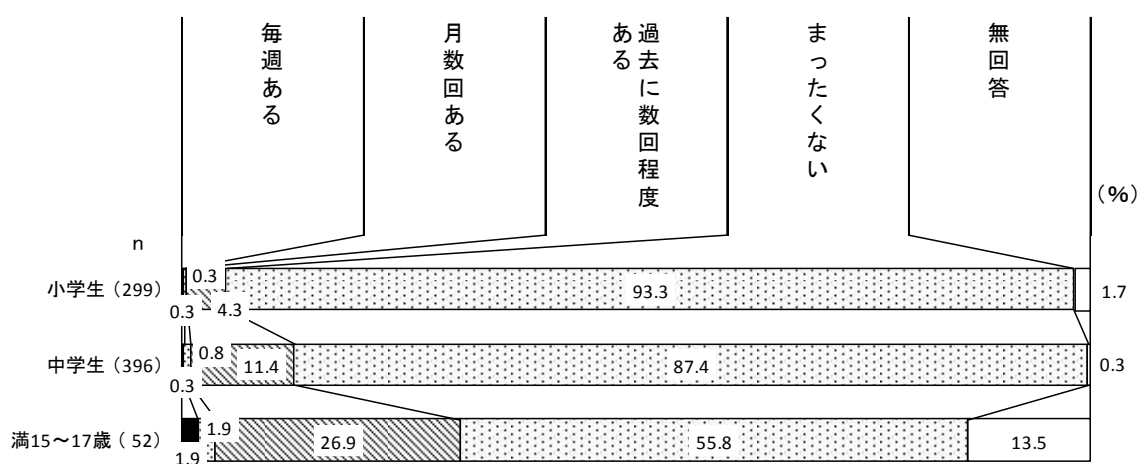
(1) 青少年の深夜外出の有無と保護者の認識

57・58ページ問43・44、120・121ページ問37・38

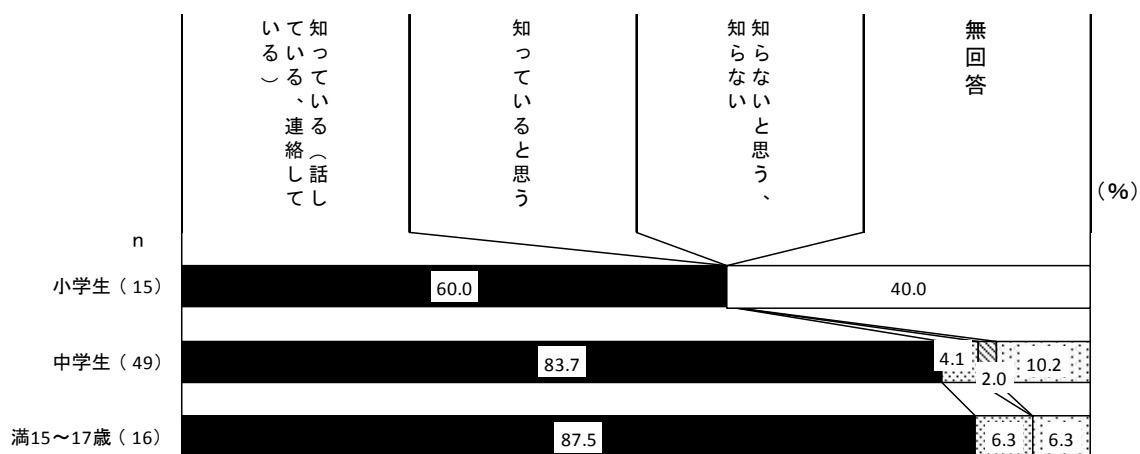
18歳未満の青少年に深夜外出の有無について聞いたところ、どの年代も「まったくない」が最も多くなっている。(図表7(1)1)

また、深夜外出についての保護者の認識を聞いたところ、どの年代でも「知っている」が最も多くなっている。(図表7(1)2)

図表7(1)1 深夜外出の有無(年代別)



図表7(1)2 深夜外出への保護者の認識(年代別)

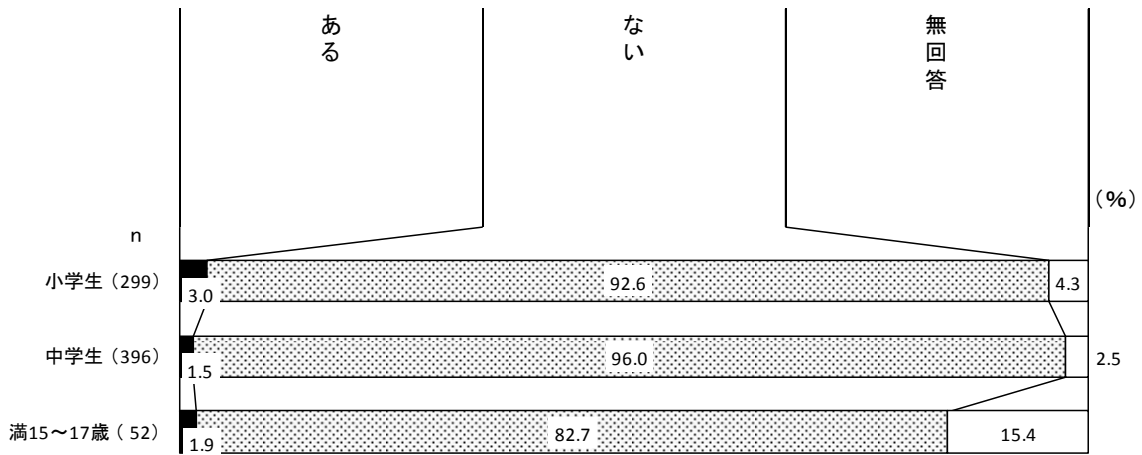


(2) 青少年の非行・問題行動の有無 59ページ問45、122ページ問39

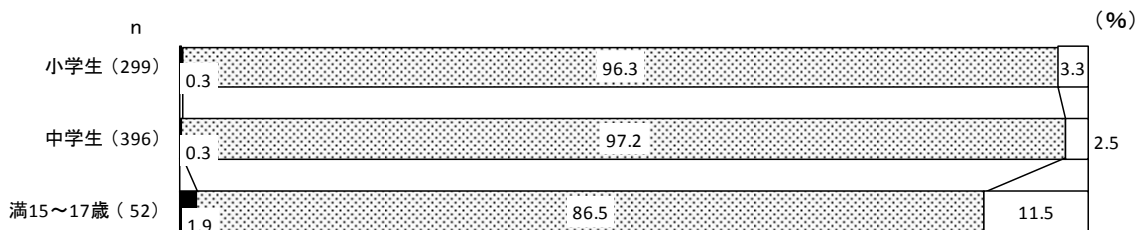
18歳未満の青少年に非行・問題行動の有無について聞いたところ、「ある」の回答が最も多い項目は、どの年代においても『人に暴力をふるう』となっている。(図表7(2)1)

図表7(2)1 青少年の非行・問題行動の有無(年代別)

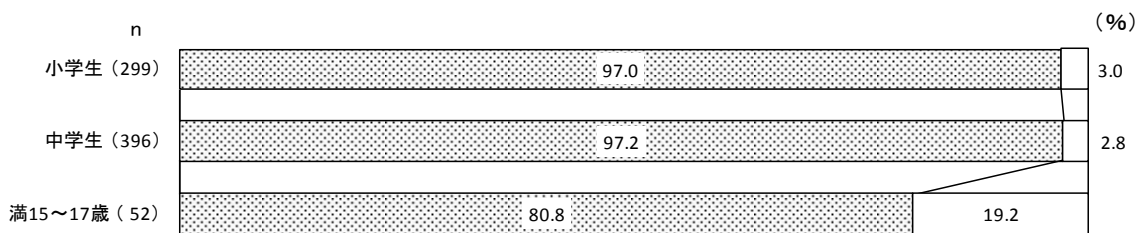
【酒を飲む】



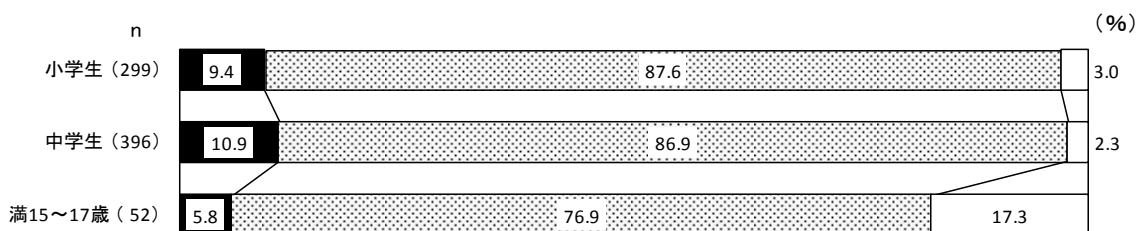
【たばこを吸う】



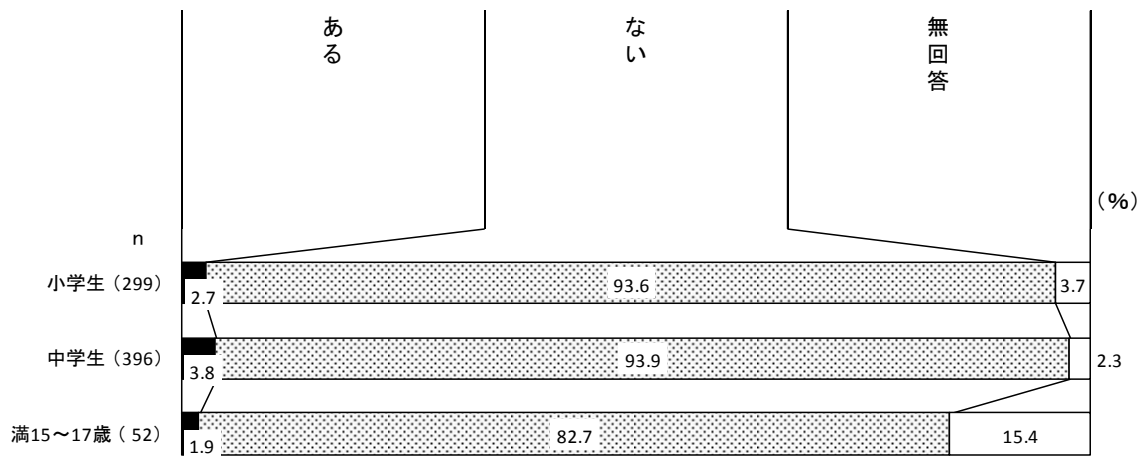
【覚せい剤や危険ドラッグを使う】



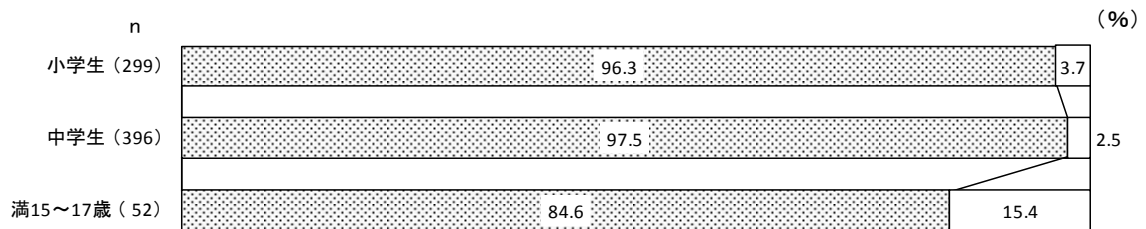
【人に暴力をふるう】



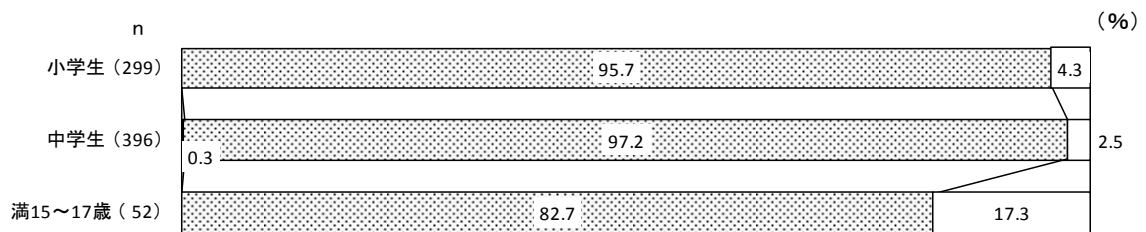
【親のお金を黙って使う】



【他人の自転車を盗む】



【万引きをする】



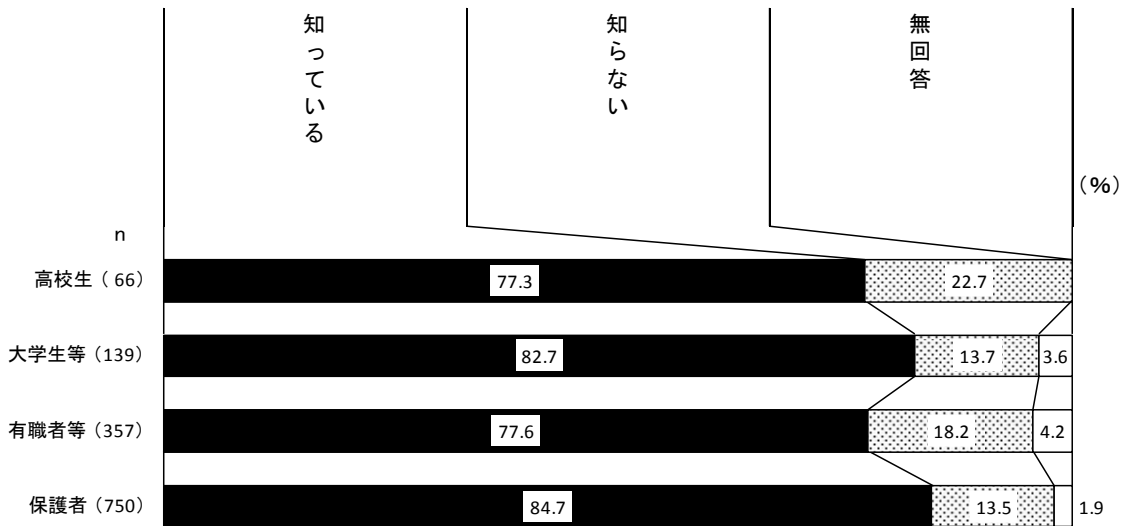
(3) 埼玉県青少年健全育成条例で制限・禁止されている事項の認知度

1 2 3 ページ問 5 2、1 7 5 ページ問 3 9

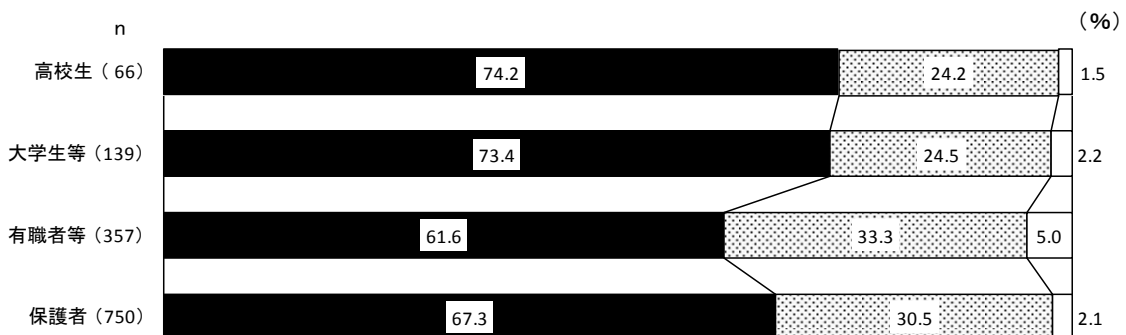
満 15 歳以上の青少年及び保護者に、埼玉県青少年健全育成条例で制限・禁止されている事項の認知度について聞いたところ、「知っている」の割合が高いのは、高校生では『コンビニエンスストアなどで、成人向け雑誌などを買ったり、見たりしてはいけないこと』、それ以外の年代では『深夜にカラオケボックス、まんが喫茶などに入っていくてはいけないこと』となっている。(図表 7 (3) 1)

図表 7 (3) 1 埼玉県青少年健全育成条例で制限・禁止されている事項の認知度 (年代別)

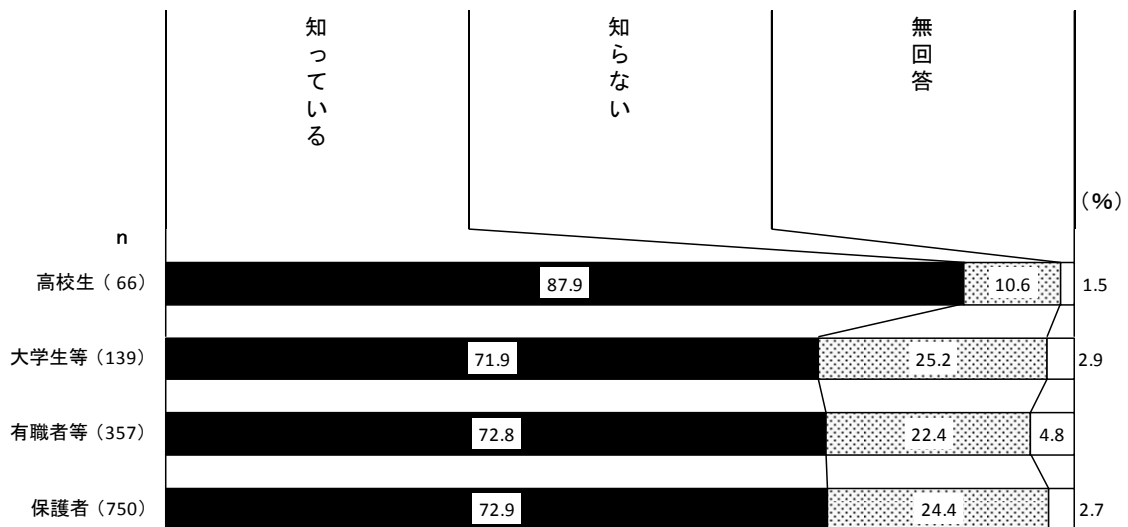
【深夜 (午後 11 時～翌朝午前 4 時までの間) にカラオケボックス、まんが喫茶などに入っていくてはいけないこと】



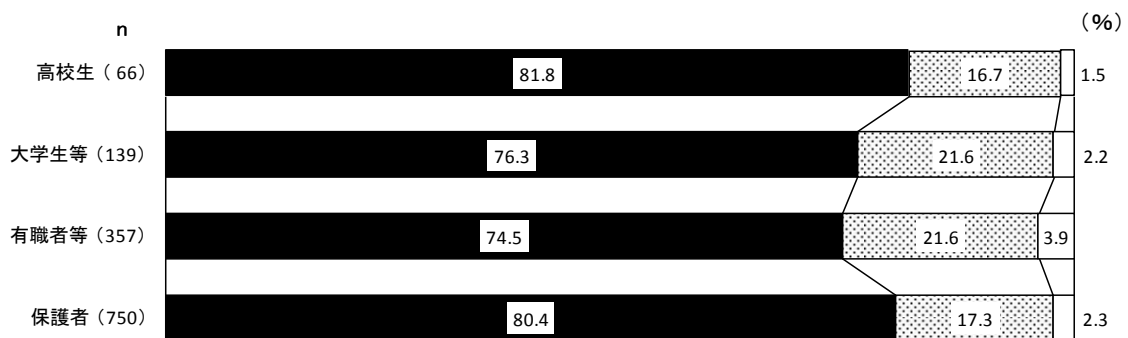
【深夜 (午後 11 時～翌朝午前 4 時までの間) に外出してはいけないこと】



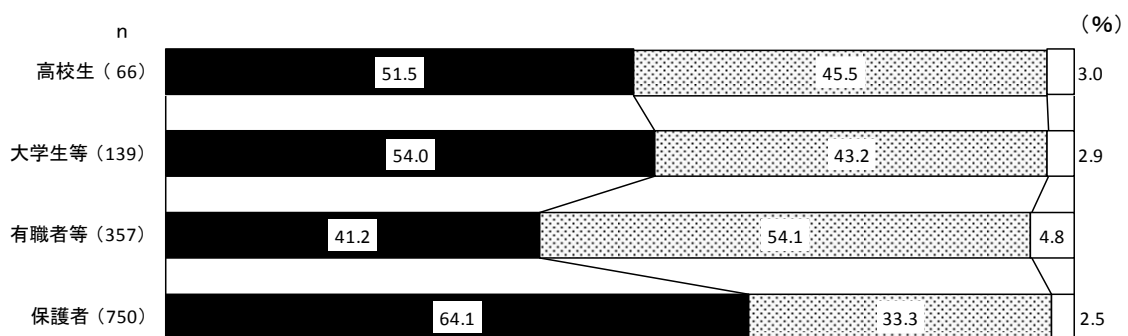
【コンビニエンスストアなどで、成人向け雑誌などを買ったり、見たりしてはいけないこと】



【インターネットを利用するに当たって、性的な情報、残虐性を助長する情報、犯罪や自殺を誘発する情報など有害な情報にアクセスし、見たり、書き込んだりしてはいけないこと】



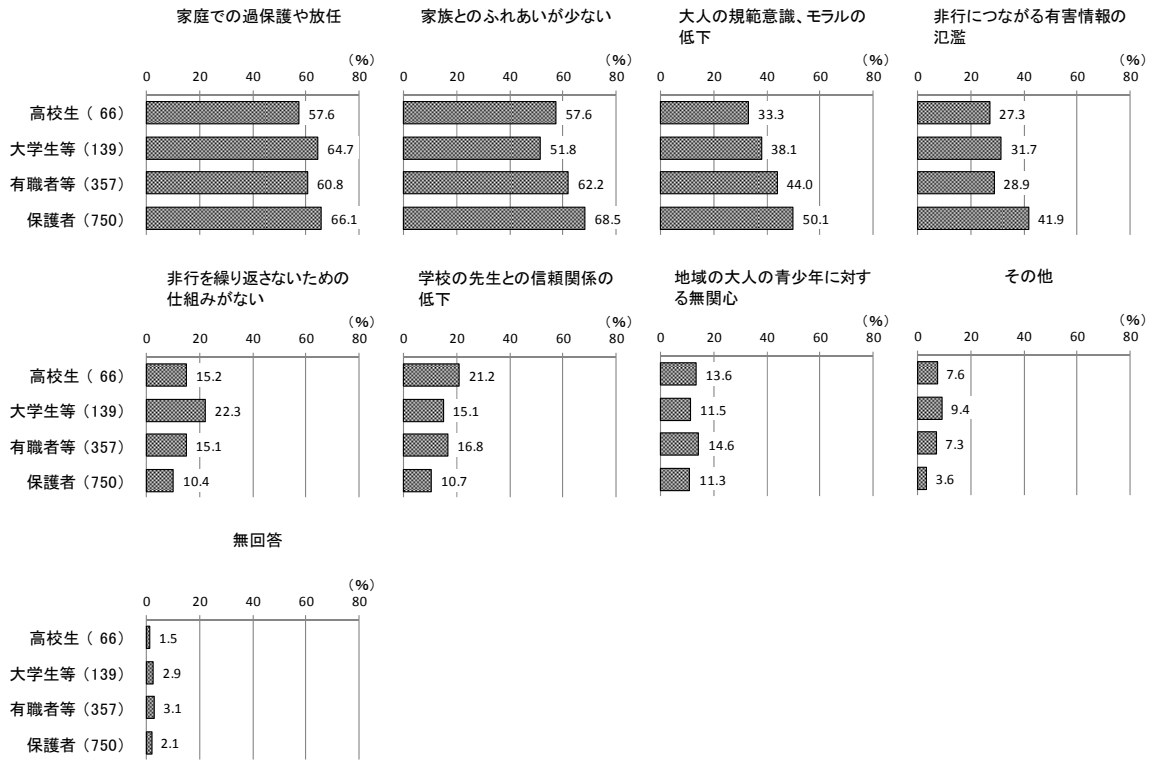
【携帯電話、スマートフォンなどを利用する場合は、原則としてフィルタリングを設定しなければならないこと】



(4) 青少年の非行の原因 124ページ問53、181ページ問43

満15歳以上の青少年及び保護者に、少年非行の原因について複数回答で聞いたところ、「家庭での過保護や放任」及び「家族とのふれあいが少ない」が多くなっている。(図表7(4)1)

図表7(4)1 青少年の非行の原因(年代別)

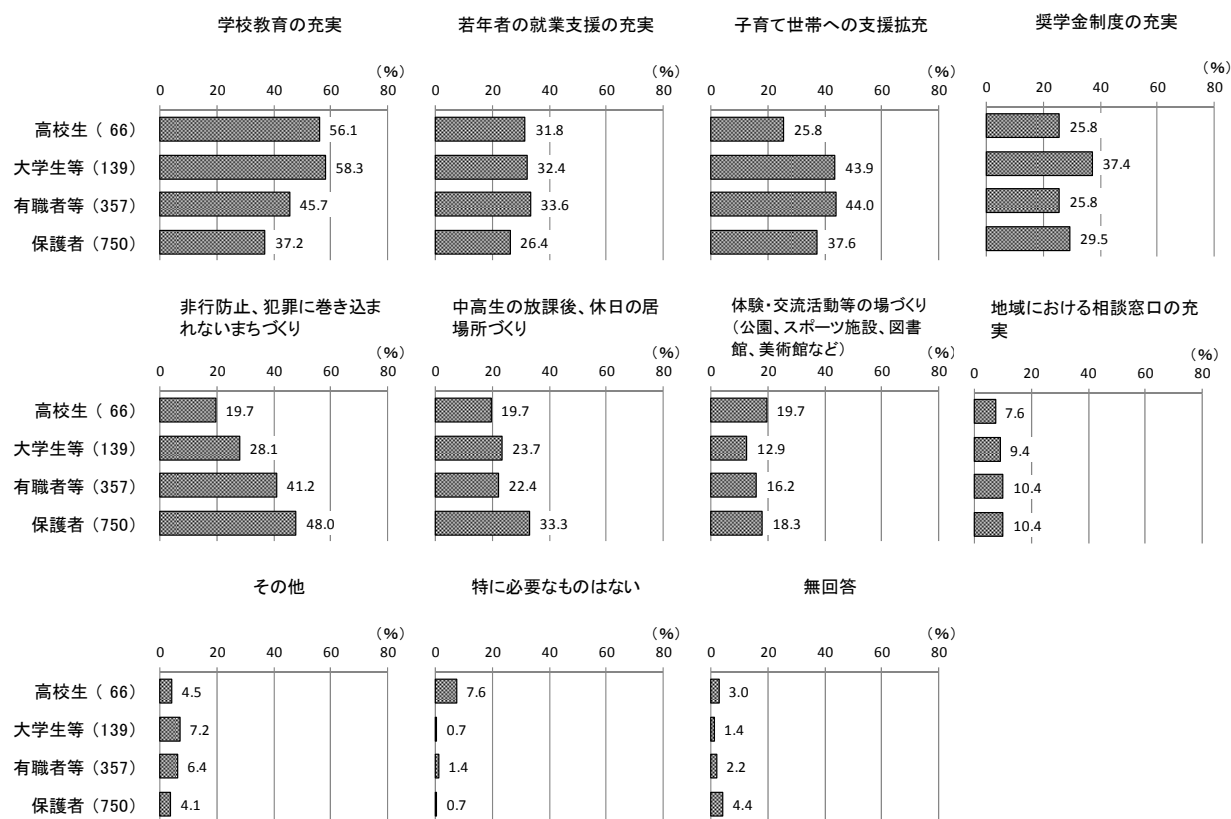


(5) 青少年の健全育成のために重点を置いてほしいもの

125ページ問54、184ページ問46

満15歳以上の青少年及び保護者に、青少年の健全育成のために重点を置いてほしいものについて複数回答で聞いたところ、青少年では『学校教育の充実』が、保護者では『非行防止、犯罪に巻き込まれないまちづくり』が最も高くなっている。(図表7(5)1)

図表7(5)1 青少年の健全育成のために重点を置いてほしいもの(年代別)

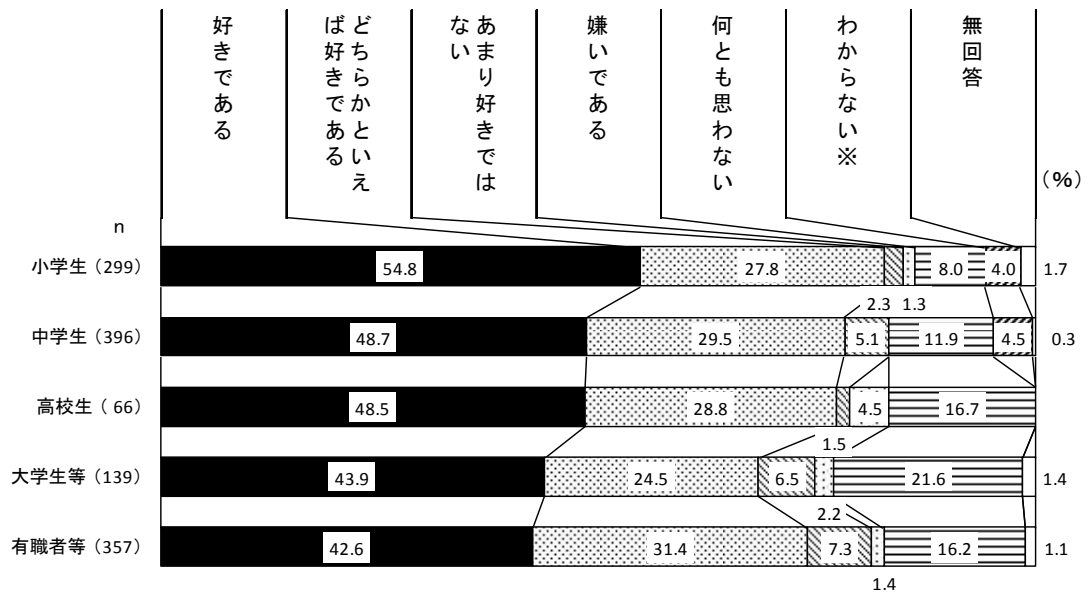


8 地域・地域活動

(1) 地域への愛着度 61ページ問47、117ページ問49

青少年に地域への愛着度について聞いたところ、どの年代でも「好きである」が最も多くなっている。(図表8(1)1)

図表8(1)1 地域への愛着度(年代別)

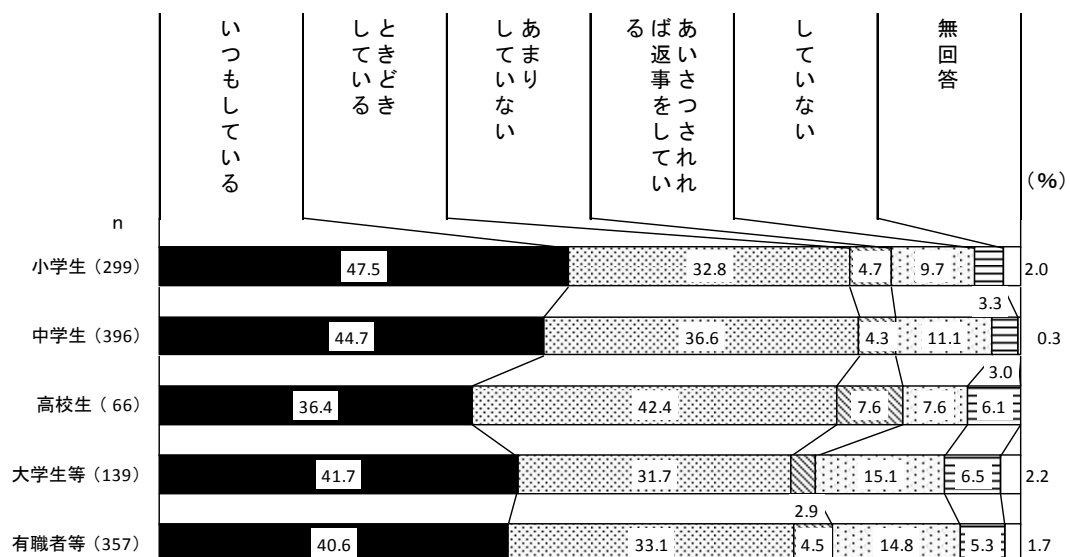


※「わからない」は小学生・中学生のみ

(2) 近所の人へのあいさつ 61ページ問48、118ページ問50

青少年に近所の人へのあいさつについて聞いたところ、年代が上がるにつれて近所の人へのあいさつは減少する傾向にある。(図表8(2)1)

図表8(2)1 近所の人へのあいさつ(年代別)



(3) 最近1年間で参加した地域活動など

63ページ問50、119ページ問51、171ページ問36

青少年及び保護者に最近一年間で参加した地域活動や行動について複数回答で聞いたところ、小学生・中学生・高校生・保護者では『地域のお祭り』が、大学生等・有職者等では『電車やバスでお年寄りや体の不自由な人に席を譲る』が最も多くなっている。(図表8(3)1)

図表8(3)1 最近1年間で参加した地域活動など(年代別)

